

# さくら市 まちづくり報告書 別冊

～担当課による指標の分析～

令和4年1月

栃木県さくら市

# まちづくり報告書別冊について

## はじめに

第2次さくら市総合計画では、6の政策、27の施策、102の基本事業を上位の目標を細分化する形で定めており、これらのうち、施策と基本事業にそれぞれ成果指標とその目標値を設定しております。

市では、毎年度のまちづくりの結果を、成果指標を活用して評価することで、次の施策や事業展開に活かしています。まちづくり報告書では、各施策における状況について大まかに把握することを目的とし、施策・基本事業評価の結果を施策単位で掲載しましたが、本別冊では、各成果指標について分析した結果を掲載します。

### ■掲載例と見方の説明

- ①第2次さくら市総合計画の掲載順に政策と施策の名称を掲載しています。
- ②成果指標の推移から、評価する年度についての成果指標の評価を記載しています。  
◎：達成 ○：順調 △：横ばい ×：悪化 -：評価不能
- ③成果指標の基準値や直近の数値、目標値を掲載しています。
- ④成果指標の評価について、担当課が「状況」と「原因」に分けて分析した結果を掲載しています。
- ⑤施策に含まれる基本事業の名称を掲載しています。
- ⑥基本事業の成果指標も施策と同様に掲載しています。

## 政策Ⅰ 市民とともに築く自立した行財政

①

### I-1 市民ネットワークあふれるまちづくりの推進

②

③

成果指標名	単位	R2 評価	基準値 (H26)	R1年度	R2年度	目標値 (R2)	担当課
市民と行政の協働によるまちづくりがされていると思う市民の割合	%	◎	41.6	62.5	62.8	44.0	総合政策課

状況：目標値を18.8ポイント上回り達成しています。

④

原因：市民の方の協働によるまちづくり意識の向上と、行政から市民へ協力をお願いするまちづくり事業の増加が大きな要因と考えられます。

⑤

### 01 市民と行政の協働の体制づくり

成果指標名	単位	R2 評価	基準値 (H26)	R1年度	R2年度	目標値 (R2)	担当課
市民との協働により実施した事務事業数	件	◎	34	52	45	34	総合政策課

状況：令和元年度に比7件減少しましたが、目標を11ポイント上回り達成しています。

⑥

原因：新型コロナウイルスの影響で前年度より減少しましたが、引き続き市民と行政の協働による業務や、イベントが定着してきていると考えられます。

## 政策 I 市民とともに築く自立した行財政

### I-1 市民ネットワークあふれるまちづくりの推進

成果指標名	単位	R2 評価	基準値 (H26)	R1年度	R2年度	目標値 (R2)	担当課
市民と行政の協働によるまちづくりがされていると思う市民の割合	%	◎	41.6	62.5	62.8	44.0	総合政策課
<p>状況：目標値を18.8ポイント上回り達成しています。</p> <p>原因：市民の方の協働によるまちづくり意識の向上と、行政から市民へ協力をお願いするまちづくり事業の増加が大きな要因と考えられます。</p>							
協働により市政が運営されていると感じる職員の割合	%	◎	54.9	59.1	64.1	57.0	総合政策課
<p>状況：目標値を7.1ポイント上回り達成しています。</p> <p>原因：市役所各課の業務を進めるうえで、市民との協働による市政運営が多くなってきたと実感する職員が増加したことによると考えられます。また、「市民協働推進チーム」の結成や「市民活動支援センター」が設立されたことも要因となると思われます。</p>							

#### 01 市民と行政の協働の体制づくり

成果指標名	単位	R2 評価	基準値 (H26)	R1年度	R2年度	目標値 (R2)	担当課
市民との協働により実施した事務事業数	件	◎	34	52	45	34	総合政策課
<p>状況：令和元年度に比べ7件減少しましたが、目標を11ポイント上回り達成しています。</p> <p>原因：新型コロナウイルスの影響で前年度より減少しましたが、引き続き市民と行政の協働による業務や、イベントが定着してきていると考えられます。</p>							
委員を公募した委員会等の割合	%	×	23.3	10.2	12.1	25.0	総合政策課
<p>状況：令和元年度に比べ1.9ポイント増加していますが、目標値は達成していません。</p> <p>原因：市民と行政で協働して取り組むまちづくりの意識は徐々に高まってきていますが、公募しても応募がない委員会も多いことが原因の一つと考えられます。</p>							

## 02 市民活動の活性化

成果指標名	単位	R2 評価	基準値 (H26)	R1年度	R2年度	目標値 (R2)	担当課
ボランティアをしている市民の割合	%	△	10.3	10.9	9.9	13.0	総合政策課
<p>状況：令和元年度より1.0ポイント減少し、目標値は達成していません。</p> <p>原因：新型コロナウイルスの影響によりボランティア実施の機会が激減していることが要因と考えられます。</p>							
市民活動団体数	団体	◎	73	88	112	73	総合政策課
<p>状況：令和元年度より24団体増加し、目標値を達成しています。</p> <p>原因：令和2年4月から「市民活動支援センター」が開設し、これにより市民活動の拠点が出来、未開発であった団体がセンターに登録したことによって活動が顕著になったことが要因と考えられます。</p>							

## 03 地域コミュニティ活動の活性化

成果指標名	単位	R2 評価	基準値 (H26)	R1年度	R2年度	目標値 (R2)	担当課
自治会活動に参加している市民の割合	%	△	44.3	46.9	43.3	46.0	総務課
<p>状況：令和元年度と比較し、3.6ポイント減少しました。</p> <p>原因：回覧板や基本的な自治会活動は実施できたものの、新型コロナウイルスの影響により制限されてしまった活動もあったことが要因であると推察されます。</p>							
市民の自治会（行政区）加入率	%	◎	71.9	69.8	68.8	68.0以上	総務課
<p>状況：目標は達成しましたが、令和元年度と比較し、1ポイント減少となりました。</p> <p>原因：昨年同様、自治会加入世帯数は増加しているものの、総世帯数の増加がそれ以上にあるため、加入率が微減となっております。</p>							

## I-2 適正な事務執行とサービス提供

成果指標名	単位	R2 評価	基準値 (H26)	R1年度	R2年度	目標値 (R2)	担当課
行政事務の執行において法令違反等があった件数	件	◎	0	0	0	0	総務課
<p>状況：令和2年度においても法令違反等はありませんでした。</p> <p>原因：適正な行政事務が執行されているためです。</p>							

### 01 快適な窓口サービスの推進

成果指標名	単位	R2 評価	基準値 (H26)	R1年度	R2年度	目標値 (R2)	担当課
窓口の職員対応に満足している市民の割合	%	◎	87.8	93.3	94.8	90.8	市民課
<p>状況：令和元年度と比較して、1.5ポイント上昇し計画目標値を超えています。</p> <p>原因：係員の増員により、来庁者への丁寧な接客と積極的な声掛けが行われている事が、来庁者からの好印象につながっていると思われます。</p>							
個人番号及び個人番号カードを活用した独自利用の件数	件	○	0	3	3	10	総合政策課
<p>状況：独自利用の件数は3件で、令和元年度までの数値と変化がありません。</p> <p>※「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例」を参照。</p> <p>原因：令和2年度中に3度、庁内に対して新規の独自利用事務の希望調査を行いました。希望がありませんでした。</p>							

### 02 開かれた議会運営

成果指標名	単位	R2 評価	基準値 (H26)	R1年度	R2年度	目標値 (R2)	担当課
議会で議論・議決した内容を知っている市民の割合	%	×	28.9	23.3	25.4	35.0	議会事務局
<p>状況：令和元年度と比較し、2.1ポイント上昇しました。</p> <p>原因：ユーチューブによる議会動画配信や、議会だよりの電子書籍掲載といった伝達手段を用いて周知を図ってきましたが、政治・議会への無関心を払拭することができませんでした。</p>							

### 03 適正な財務会計の執行

成果指標名	単位	R2 評価	基準値 (H26)	R1年度	R2年度	目標値 (R2)	担当課
定例監査、決算審査で財務会計行為が不適正とされた件数	件	◎	0	0	0	0	監査委員事務局
<p>状況：概ね適正です。</p> <p>原因：適正に財務会計行為が行われていたためです。</p>							

## 04 適正な選挙事務の執行

成果指標名	単位	R2 評価	基準値 (H26)	R1年度	R2年度	目標値 (R2)	担当課
選挙事務が不適正とされた件数	件	◎	0	0	0	0	選挙管理委員会事務局
状況：概ね適正です。 原因：適正に選挙事務が行われていたためです。							

## 05 適正な会計処理

成果指標名	単位	R2 評価	基準値 (H26)	R1年度	R2年度	目標値 (R2)	担当課
現金出納検査で会計処理が不適正とされた件数	件	◎	0	0	0	0	会計課
状況：不適正な会計処理はありませんでした。 原因：適正な会計処理が行われていたためです。							

## 06 外国人向けのサービス提供

成果指標名	単位	R2 評価	基準値 (H26)	R1年度	R2年度	目標値 (R2)	担当課
行政等が外国人向けに発行した刊行物の件数	件	◎	5	12	12	10	総合政策課
状況：令和元年度からは増加はありませんが、目標値を達成しています。							

## 07 適正な個人情報の管理

成果指標名	単位	R2 評価	基準値 (H26)	R1年度	R2年度	目標値 (R2)	担当課
個人情報の漏えい件数	件	◎	0	0	0	0	総務課
状況：個人情報の漏えいはありませんでした。 原因：適正な管理が行われていたためです。							

## 08 適正な電算システムの管理

成果指標名	単位	R2 評価	基準値 (H26)	R1年度	R2年度	目標値 (R2)	担当課
基幹電算システムがダウンした件数	件	×	0	0	1	0	財政課
状況：システムダウンは1件です。目標値を達成できませんでした。 原因：基幹系業務のサーバーはクラウド化されておりますが、クラウド側で使用するツールの不具合により通信断が発生しました。既に再発防止対策済です。							

### I-3 効果的・効率的な行政経営の推進

成果指標名	単位	R2 評価	基準値 (H26)	R1年度	R2年度	目標値 (R2)	担当課
効果的・効率的なまちづくり（行政経営）が進められていると思う市民の割合	%	◎	44.8	55.0	54.7	50.0	総合政策課
<p>状況：令和元年度と比べて0.3ポイント減少していますが、目標を達成しています。なお、年齢別では「50～64歳」を除く年齢で50%以上のポイントである一方、「50～64歳」では40%台となっています。</p> <p>原因：市のまちづくりに関する取組状況が広報・HP・SNS等を通じて発信され、一定の評価をされていると考えます。</p>							
効果的・効率的なまちづくり（行政経営）が進められていると思う職員の割合	%	○	50.4	47.0	57.8	60.0	総合政策課
<p>状況：令和元年度と比べて10.8ポイント改善し、目標値との差が2.2ポイントになりました。なお、職位別では「係長・副主幹兼係長・主幹兼係長」の、部門別では「建設部・上下水道事務所」の、職種では「技能労務職」の数値が低い傾向が続いています。</p> <p>原因：令和2年度中の総合計画の策定に伴う業務の見直しに伴い、意識付けされたと考えられます。</p>							

#### 01 成果を重視した行政経営の確立

成果指標名	単位	R2 評価	基準値 (H26)	R1年度	R2年度	目標値 (R2)	担当課
施策や事業の成果（指標）を意識して業務を行っている職員の割合	%	◎	81.7	75.0	86.2	85.0	総合政策課
<p>状況：令和元年度と比べて11.2ポイント改善し、目標を達成しました。なお、職位別で「係長・副主幹兼係長・主幹兼係長」の数値が低い傾向が続いていますが、全体的に高い数値となっています。</p> <p>原因：令和2年度中に行った成果指標の設定作業により、意識付けされたと考えられます。</p>							
行政評価と予算・決算作業が連携していると思う職員の割合	%	×	57.4	52.6	54.8	70.0	総合政策課
<p>状況：令和元年度と比べて2.2ポイント改善しましたが、基準値より2.6ポイント、目標値より15.2ポイント下回っています。なお、職位別では「係長・副主幹兼係長・主幹兼係長」「課長級」の、部門別では「建設部・上下水道事務所」の数値が低い傾向が続いています。</p> <p>原因：行政評価による事業の見直し結果が予算・決算に上手く反映されていないものと考えます。</p>							

## 02 職員能力と組織力の向上

成果指標名	単位	R2 評価	基準値 (H26)	R1年度	R2年度	目標値 (R2)	担当課
人事評価・研修・OJTが有効に機能していると思う職員の割合	%	○	46.3	56.3	53.2	54.8	総務課
<p>状況：目標値を達成していません。</p> <p>原因：新型コロナウイルス感染症対策により、人事評価に関する説明会を資料の送付に変えたほか、職員研修では中止にする期間があったなどが考えられます。</p>							
組織・職員が市民・地域の問題や行政課題に関し迅速かつ適切に解決できていると思う職員の割合	%	○	65.1	67.1	70.5	70.6	総務課
<p>状況：目標値は達成できませんでしたが、令和元年度から3.4ポイント増加しています。</p> <p>原因：事務事業評価等に基づき、業務の取捨選択を進めるなど、効率的な事務執行に務めることで指標の推進を図りました。</p>							
部門内・部門間のコミュニケーション・協力体制が良好だと思える職員の割合	%	◎	55.9	68.0	64.7	62.8	総務課
<p>状況：目標値を達成しています。</p> <p>原因：比較的小規模の人事異動等であったことにより、構築された職場の人間関係が継続できたことによるものと思われます。</p>							

## 03 職員定員の適正管理

成果指標名	単位	R2 評価	基準値 (H26)	R1年度	R2年度	目標値 (R2)	担当課
人口1,000人あたりの職員数（公営企業等除く）	人	◎	6.60	6.88	6.94	6.94以下	総務課
<p>状況：目標値を達成しています。</p> <p>原因：適正な定員管理に努めたためです。</p>							



## 04 広域行政・交流の取組みの促進

成果指標名	単位	R2 評価	基準値 (H26)	R1年度	R2年度	目標値 (R2)	担当課
広域交流などにより相互補完しているサービスメニュー件数	件	◎	18	19	19	18	総合政策課
<p>状況：実績値に変化はありませんが、目標値を達成しています。</p> <p>原因：広域行政・交流の取組みを継続的に実施しているためです。</p>							
姉妹都市との交流イベントなどの件数	件	×	11	6	1	13	総合政策課
<p>状況：令和元年度より5件減少し、目標値は達成していません。</p> <p>原因：例年実施される姉妹都市交流大会（主にスポーツ大会）が新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からすべて中止となったことが原因と考えられます。</p>							

## 05 広報・広聴の充実

成果指標名	単位	R2 評価	基準値 (H26)	R1年度	R2年度	目標値 (R2)	担当課
市政情報の提供の満足度	%	◎	83.1	84.5	86.7	84.0	総合政策課
<p>状況：：前回調査（令和元年度実施）と比較して2.2ポイント上がっており、目標値（令和2年）を達成しています。</p> <p>原因：コロナ禍において、市民の必要とする感染情報や支援情報を印刷物、SNS、HP等で積極的に発信したことが今回の結果に結びついたと考えられます。</p>							
多様な市民の声をまちづくり等に取り入れる仕組みができていると思う市民の割合	%	◎	37.0	50.7	45.2	38.0	総合政策課
<p>状況：前回調査（令和元年度実施）と比較して5.5ポイント下がっていますが、基準値（平成26年）と比較して8.2ポイント上がっており、目標値（令和2年）を達成しています。</p> <p>原因：コロナ禍において、まちづくりや、行政経営が市民に届きづらい状況下にあるためと考えられます。</p>							

## I-4 透明で健全な財政の確立

成果指標名	単位	R2 評価	基準値 (H26)	R1年度	R2年度	目標値 (R2)	担当課
実質赤字比率	%	◎	赤字額なし	赤字額なし	赤字額なし	赤字額なし	財政課
<p>状況：普通会計において、実質赤字額が生じていないため、計画どおりの成果です。</p> <p>原因：歳入の決算額について、当初予算と比較して大幅な減額がなかったことによります。</p>							
連結実質赤字比率	%	◎	赤字額なし	赤字額なし	赤字額なし	赤字額なし	財政課
<p>状況：普通会計及び特別会計、企業会計において、実質赤字額が生じていないため、計画どおりの成果です。</p> <p>原因：歳入の決算額について、当初予算と比較して大幅な減額がなかったことによります。</p>							
実質公債費比率	%	◎	9.4	7.3	7.4	9.4	財政課
<p>状況：令和元年度から0.1ポイント悪化し7.4%となりました。</p> <p>原因：合併特例債などの公債費の償還がピークとなっているためです。</p>							
将来負担比率	%	◎	将来負担比率なし	将来負担比率なし	将来負担比率なし	将来負担比率なし	財政課
<p>状況：令和元年度と同様に、将来負担比率なしとなっています。</p> <p>原因：起債残高が減少し、将来負担比率に影響を及ぼすことはありませんでした。(R1年度末 15,792,315千円→R2年度末 15,287,398千円)</p>							

### 01 自主財源の確保

成果指標名	単位	R2 評価	基準値 (H26)	R1年度	R2年度	目標値 (R2)	担当課
自主財源比率	%	×	52.2	52.5	41.6	53.0	財政課
<p>状況：令和元年度に比べ10.9ポイント減少して、41.6%となりました。</p> <p>原因：コロナの影響による特別定額給付金事業やひとり親・子育て世帯に対する臨時特別給付金事業などの100%国庫事業が増えたことが主な要因です。</p>							
市税収納率（国民健康保険税を除く）	%	◎	92.3	98.4	98.3	94.1	税務課
<p>状況：令和元年度に比べ0.1ポイント減少したものの、目標値は達成しています。</p> <p>原因：財産調査を徹底し、適切な滞納処分を実施しました。なお、収納率が前年度から減少した要因については、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、一部税目の収納率が下がったことが全体に影響しました。</p>							

## 02 公共施設の適正化

成果指標名	単位	R2 評価	基準値 (H26)	R1年度	R2年度	目標値 (R2)	担当課
普通財産のうち未利用地の占める割合	%	◎	44.3	43.7	41.2	42.0	財政課
<p>状況：未利用地の指標が前年度と比較して2.5ポイント減少しました。</p> <p>原因：旧伝馬町倉庫を廃止し当該地を民間に貸付けたことが主な要因です。※固定資産台帳を整備したため後期基本計画より指標値の取得方法を改めました。それにより指標値が約2.0ポイント減少しました。</p>							

## 03 計画的・効率的な財政運営

成果指標名	単位	R2 評価	基準値 (H26)	R1年度	R2年度	目標値 (R2)	担当課
経常収支比率	%	×	85.9	91.4	93.9	85.9	財政課
<p>状況：2.5ポイント悪化し、93.9%となりました。</p> <p>原因：建設事業の減少や、会計年度任用職員の制度開始による人件費が増加したことが主な原因です。</p>							
市民一人当たり市債残高	円	◎	380,718	358,769	346,002	350,000	財政課
<p>状況：12,767円減額し、346,002円となりました。</p> <p>原因：起債額を抑制し（交付税措置のない起債を見送る等）、償還が進んでいることが原因です。</p>							

## 政策Ⅱ 福祉の充実と安心の社会保障

### Ⅱ-1 助け合いと支え合いの地域福祉

成果指標名	単位	R2 評価	基準値 (H26)	R1年度	R2年度	目標値 (R2)	担当課
地域で支え合っていると思う市民の割合	%	×	64.3	58.5	60.8	66.8	福祉課
<p>状況：令和元年度から2.3ポイント増加しましたが、目標値には達しませんでした。</p> <p>原因：アンケートの年齢別内訳によると令和元年度と比較して、18～29歳は16.5ポイント減少したものの、30～39歳が9.0ポイント、60～64歳が8.8ポイント増加しています。子育て世代及び定年退職を迎える世代が、それぞれの生活スタイルのなかで地域との繋がりを感しているものと推測されます。</p>							

#### 01 地域福祉の理解促進

成果指標名	単位	R2 評価	基準値 (H26)	R1年度	R2年度	目標値 (R2)	担当課
地域福祉活動・福祉ボランティアを行っている市民の割合	%	○	9.4	10.9	10.8	11.9	福祉課
<p>状況：令和元年度から0.1ポイント減少し、目標値には達しませんでした。</p> <p>原因：アンケートの年齢別内訳によると令和元年度と比較して70歳以上が4.5ポイント、60～64歳が1.1ポイント増加したものの、その他の世代で減少しています。コロナ禍により外出する機会が減少したこともボランティア活動等に影響しているものと思われます。</p>							
福祉関連NPO・ボランティア団体数	団体	◎	38	55	47	35	福祉課
<p>状況：令和元年度と比較して8団体減少しましたが、目標値を達成しました。</p> <p>NPO法人数 6団体 ボランティア団体数 14団体 ご近所ふれあいサロン 27団体</p> <p>原因：ご近所ふれあいサロンは増加傾向にあるものの、ボランティア団体数が減少しており、ボランティアの担い手不足が懸念されます。コロナ禍により活動できなくなったこともボランティア団体数減少の要因と考えられます。</p>							

#### 02 地域福祉活動の推進

成果指標名	単位	R2 評価	基準値 (H26)	R1年度	R2年度	目標値 (R2)	担当課
各行政区で実施している地域福祉事業数	事業	◎	13	25	27	16	福祉課
<p>状況：令和元年度と比較して2団体増加し、目標値を達成しました。</p> <p>原因：社会福祉協議会によるご近所ふれあいサロン助成金の交付団体数が27団体になったためです。また、行政区、任意団体等にて実施している、助成金を申請するまでに至らないものも増加しています。</p>							
地域福祉事業を行っている行政区の割合	%	◎	16.0	42.7	44.0	17.3	福祉課
<p>状況：令和元年度から1.3ポイント増加し、目標値を達成しました。</p> <p>原因：ご近所ふれあいサロンの実施行政区数が2地区増加したためです。なお、ご近所ふれあいサロンは近隣の行政区と共同で実施しているところもあります。</p>							

## 03 見守り活動の推進

成果指標名	単位	R2 評価	基準値 (H26)	R1年度	R2年度	目標値 (R2)	担当課
見守り活動の実践者数	人	○	60	65	66	90	高齢課
状況：令和元年度と横ばいとなっております。							
原因：対象者の施設入所や入院により減少するケースもあるためです。							

## Ⅱ-2 生きがいをもたらす高齢者福祉

成果指標名	単位	R2 評価	基準値 (H26)	R1年度	R2年度	目標値 (R2)	担当課
生きがいを持っている高齢者の割合	%	×	82.9	82.8	80.1	85.0	高齢課
<p>状況：令和元年度と比較して、2.7ポイント減少しています。目標値との比較では、4.9ポイント、達していません。</p> <p>原因：コロナ禍が長期化することで外出機会や地域の方との交流機会が減少し、生きがいを失う高齢者が増えてきていると考えられます。コロナ禍でも可能な生きがいづくりの情報提供等を充実する必要があります。</p>							

### 01 高齢者の社会参加の推進

成果指標名	単位	R2 評価	基準値 (H26)	R1年度	R2年度	目標値 (R2)	担当課
社会参加している高齢者の割合	%	×	44.3	39.6	36.6	55.0	高齢課
<p>状況：令和元年度と比較して、3.0ポイント減少しています。目標値との比較では18.4ポイント、達していません。</p> <p>原因：社会参加の意欲はあるものの、コロナ禍で地域の通いの場等が休止していたり、感染予防として参加を見合わせているケースが増えていると考えられます。今後の感染状況によっては、目標値の達成が困難な状況が続くことも考えられます。</p>							
住みよと思う市民の割合	%	◎	75.4	71.1	80.1	80.0	総合政策課
<p>状況：令和元年度より9.0ポイント向上し、目標を達成しました。性別、年齢別ではほとんどの項目で数値が向上しています。一方、職業別では「農林水産業」「自営業・会社経営」で数字が若干悪化しています。</p> <p>原因：住み続けたい理由として、「買物等の日常生活の利便性」や「自然の豊かさ」が評価されています。コロナ禍において郊外での生活が見直され、住みよさにつながっているものと考えます。</p>							

### 02 介護予防対策の充実

成果指標名	単位	R2 評価	基準値 (H26)	R1年度	R2年度	目標値 (R2)	担当課
自立している高齢者の割合	%	×	88.4	83.8	83.7	89.0	高齢課
<p>状況：令和元年度と比較して、0.1ポイント減少しています。目標値との比較では5.3ポイント、達していません。</p> <p>原因：コロナ禍で自宅で過ごす時間が増え、フレイルや認知症が進みやすい状況となっていることが原因と考えられます。ウォーキングや自宅で行えるはつらつ体操などの普及啓発を続けていますが、社会参加が介護予防にとって重要であることから、コロナ禍の収束が期待されます。</p>							
健康によい生活習慣の平均実践項目数	個	○	5.37	5.42	5.44	6.00	高齢課
<p>状況：令和元年度と比較して、0.02個増加しています。目標値との比較では、0.56個、達していません。</p> <p>原因：高齢者各個人における健康維持及び増進のためにどのような取り組みが効果的かという情報を得る機会が少ないということが考えられます。「週2回以上の運動」と「間食をしない」という項目が低いことから、引き続き健康体操や栄養指導の普及啓発に力を入れていく必要があります。</p>							
介護予防教室参加者数	人	×	629	350	345	700	高齢課
<p>状況：令和元年度と比較して、5人減少しています。目標値との比較では、355人、達していません。</p> <p>原因：地域の通いの場等における健康体操が普及したことにより、通いの場からの依頼に基づく高齢者教室の参加者数が減少したことが考えられます。また、感染予防として介護予防教室への参加を見合わせている市民が増えていることも影響していると考えられます。</p>							

03 介護サービス体制の整備

成果指標名	単位	R2 評価	基準値 (H26)	R1年度	R2年度	目標値 (R2)	担当課
介護サービス体制が充実していると思う高齢者の割合	%	◎	77.3	80.9	84.6	80.0	高齢課
<p>状況：令和元年度と比較して、3.7ポイント上昇しています。</p> <p>原因：市民が必要と考えるサービスの需要と供給の乖離が減少してきたことが考えられます。第7期さくら市高齢者総合保健福祉計画において、地域密着型サービスや特別養護老人ホームを整備したことにより、サービス供給不足の解消が図られてきています。</p>							
認知症サポーター数	人	◎	1,381	5,425	5,956	2,500	高齢課
<p>状況：令和元年度と比較して、531人増加しています。目標値との比較では、3,456人超えて、達しています。</p> <p>原因：養成講座の開催回数が増加したこと、及び小中学校等で講座を開催したことが要因と考えられますが、コロナ禍で開催回数が減少しており、オンライン開催等も継続する必要があります。</p>							

04 在宅福祉サービスの充実

成果指標名	単位	R2 評価	基準値 (H26)	R1年度	R2年度	目標値 (R2)	担当課
在宅福祉サービスが充実していると思う高齢者の割合	%	×	27.2	21.9	21.4	28.6	高齢課
<p>状況：令和元年度と比較して0.5ポイント減少しています。</p> <p>原因：既存の在宅福祉サービスと高齢者のニーズが合致していないことが要因と考えられます。また、在宅福祉サービスの周知不足も一因と考えられます。</p>							

## Ⅱ-3 自立・支援・社会参加の障がい者（児）福祉

成果指標名	単位	R2 評価	基準値 (H26)	R1年度	R2年度	目標値 (R2)	担当課
在宅で生活している障がい者（児）の割合	%	△	97.3	97.0	97.3	98.0	福祉課
<p>状況：令和元年度から0.3ポイント増加していますが、目標値に達しませんでした。</p> <p>原因：障害者手帳所持者数は令和元年度2,040人から2,053人に増加しているのに対し、施設入所者が令和元年度61人から56人に5名減少していることが、在宅で生活をする障害者の割合が増加した原因と考えられます。</p>							

### 01 障がい者（児）支援体制の充実

成果指標名	単位	R2 評価	基準値 (H26)	R1年度	R2年度	目標値 (R2)	担当課
健診・相談をきっかけとして要支援とされた人数	人	-	73	63	53	-	福祉課
<p>状況：令和元年度より10人減少しています。</p> <p>原因：乳幼児健診以外でも対応し支援する機会が増えたことが考えられます。</p>							
経過観察・療育等でケアをしている児童数	人	-	5	8	8	-	福祉課
<p>状況：令和元年度と同数になります。</p> <p>原因：3歳6か月児健診より前の段階で対応する機会が増えたためと考えられます。</p>							
健診・相談で早期発見された児童数	人	-	4	5	1	-	福祉課
<p>状況：紹介状を出した数が1通に対し戻りが1通。</p> <p>原因：個別で経過をみるが増えたことにより紹介状を出す件数が減りました。紹介状が出された方は全て結果の戻りがありました。</p>							



## 02 自立した生活の支援

成果指標名	単位	R2 評価	基準値 (H26)	R1年度	R2年度	目標値 (R2)	担当課
自立支援給付事業利用者数、障害児通所支援利用者数	人	◎	4,626	7,020	7,680	4,650	福祉課
<p>状況：令和元年度と比較して660名増加し、目標値を大幅に達成しています。</p> <p>原因：平成30年度に障害児通所支援サービスの利用条件を緩和したことにより、利用者が継続的に増加していることと、市内の児童通所事業所が増加したことや障がい者家族のサービス利用への意識変化等により障がい者・児のサービス利用者が増加したことの主な要因と考えられます。</p>							
施設入所・入院から在宅生活への延べ移行人数	人	◎	4	11	18	6	福祉課
<p>状況：令和元年度より7人増加し、目標値を達成しています。</p> <p>原因：入院患者への退院時個別支援会議により、退院後の福祉サービスの利用を支援することで、在宅の生活環境が整い、在宅での生活へ移行する方が増えたことが主な要因と考えられます。</p>							

## 03 地域生活の支援

成果指標名	単位	R2 評価	基準値 (H26)	R1年度	R2年度	目標値 (R2)	担当課
地域生活支援事業利用者数	人	◎	1,033	1,322	1,256	1,050	福祉課
<p>状況：令和元年度と比較して66人減少していますが、目標値を達成しています。</p> <p>原因：新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により相談支援の利用を控える傾向にあることと、手話奉仕員養成講座事業の中止等が減少の主な原因と考えられます。</p>							

## 04 社会参加の促進

成果指標名	単位	R2 評価	基準値 (H26)	R1年度	R2年度	目標値 (R2)	担当課
就労相談・支援により就労した障がい者数	人	◎	0	5	4	3	福祉課
<p>状況：令和元年度と比較して1名減少していますが、目標値を達成しています。</p> <p>原因：特別支援学校卒業後就労した方が1名増加していますが、18歳以上の就労移行した方が2名減少しています。新型コロナウイルス感染症の影響により就労が難しくなっていることが推測されます。</p>							
障がい者（児）の社会参加事業参加者数	人	×	475	534	347	500	福祉課
<p>状況：令和元年度と比較して、187人減少しており、目標値を達しませんでした。</p> <p>原因：新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、障害者団体の各種事業の延期や中止が参加者数の大幅な減少の主な原因と考えられます。</p>							

## Ⅱ-4 健康・予防・医療体制の充実と健康づくり

成果指標名	単位	R2 評価	基準値 (H26)	R1年度	R2年度	目標値 (R2)	担当課
自身が健康だと思う市民の割合	%	△	76.1	74.6	76.8	80.0	健康増進課
<p>状況：令和元年度と比べて2.2ポイント増加しています。</p> <p>原因：アンケート結果で18歳～29歳81.6%、30歳～39歳78.0%、40歳～49歳79.2%、50歳～59歳75.3%、60歳～64歳68.7%、65歳～69歳73.7%、70歳以上72.6%と全体的に増加しています。</p>							

### 01 自主的な健康づくりの推進

成果指標名	単位	R2 評価	基準値 (H26)	R1年度	R2年度	目標値 (R2)	担当課
健康により生活習慣を実践している市民の割合	%	△	81.3	79.7	81.1	85.0	健康増進課
<p>状況：令和元年度と比べて1.4ポイント増加しています。</p> <p>原因：アンケート結果で、主食・主菜・副菜のそろった食事をとるに○を付けた方が52.6%と6.9ポイント増加、週2回30分以上の運動をするに○を付けた方が26.5%と1.2ポイント増加し、全体的に増加しています。</p>							

### 02 保健予防対策の充実

成果指標名	単位	R2 評価	基準値 (H26)	R1年度	R2年度	目標値 (R2)	担当課
がん健診により精密検査が必要とされた市民の精密検査受診率	%	×	79.1	80.2	69.6	85.0	健康増進課
<p>状況：基準値（平成26年）と比べて9.5ポイント減少しています。</p> <p>原因：特に乳がん精検受診率が19.6ポイント減少しています。（受診率：胃がん精検受診率72.6%、肺がん79.3%、大腸がん61.0%、子宮がん80.0%、乳がん69.4%） コロナ禍で医療機関への受診控えが影響している可能性が考えられます。</p>							
乳幼児健診により精密検査が必要とされた乳幼児の精密検査受診率	%	◎	95.0	89.5	100.0	100.0	健康増進課
<p>状況：基準値（平成26年）と比べて5ポイント増加し、目標値に達成しました。</p> <p>原因：電話や訪問等で受診勧奨したことにより、精密検査を適切に受診できたと考えられます。</p>							

## 03 地域医療体制の整備

成果指標名	単位	R2 評価	基準値 (H26)	R1年度	R2年度	目標値 (R2)	担当課
かかりつけ医がいる市民の割合	%	△	77.2	76.1	76.0	80.0	健康増進課
<p>状況：令和元年度と比べて0.1ポイント減少しています。</p> <p>原因：性別比較では、女性で0.5ポイントの減少があり、年代別比較では60～64歳では6.6ポイントの減少となっています。身体の状態により受診する医師を変える傾向があるのではないかと考えられます。</p>							
市内医療機関での救急患者受入人数	人	×	3,667	2,551	1,845	3,800	健康増進課
<p>状況：平成29年度から令和元年度まで横ばい状態が続きましたが、令和2年度は極端に減少しました。</p> <p>原因：市外病院通院中の方は、救急時通院病院に受診希望することも考えられ、また、緊急時は市外病院や宇都宮医療圏に受診するケースも多いのではないかと考えられます。</p>							

## Ⅱ-5 安心して安全な子育て環境づくり

成果指標名	単位	R2 評価	基準値 (H26)	R1年度	R2年度	目標値 (R2)	担当課
子育て支援のサービスや環境が充実していると思う保護者の割合	%	◎	80.1	82.3	86.4	83.0	こども政策課
<p>状況：令和元年度に比べ4.1ポイント増加し目標を達成しました。</p> <p>原因：保育施設整備(新設保育園や幼稚園の認定こども園化など)が進み、待機児童がゼロとなったことが要因と考えられます。</p>							
出生数（出典：栃木県人口動態統計）	人	×	416	367（327）	350	416	こども政策課
<p>状況：令和元年度に比べ17人減少し目標を達成できませんでした。 ※（ ）内の数値は確定値。</p> <p>原因：全国的な出生数の減少に加え、新型コロナウイルス感染症の影響もあり減少しました。さくら市を子育ての場として選んでもらうために更なる子育て支援の推進が必要と考えられます。</p>							
子育てが楽しいと思う保護者の割合	%	◎	93.6	93.8	94.9	94.0	こども政策課
<p>状況：令和元年度に比べ1.1ポイント増加し目標を達成しました。</p> <p>原因：各種子育て支援サービスの充実、周知が図られてきたことが要因と考えられます。</p>							

### 01 未就学児・児童の教育・保育サービスの充実

成果指標名	単位	R2 評価	基準値 (H26)	R1年度	R2年度	目標値 (R2)	担当課
保育所・認定こども園・地域型保育事業所の待機者数（4月1日現在）	人	◎	0	27	0	0	こども政策課
<p>状況：令和2年4月1日現在待機児童は0人で目標値を達成しました。</p> <p>原因：保育園1園の開設及び未移行幼稚園が認定こども園に移行したことにより、受入れ児童数が増加したことが主な要因と考えられます。</p>							
学童保育の待機者数（3月31日現在）	人	◎	0	0	0	0	こども政策課
<p>状況：待機児童は発生しておらず、目標を達成しました。</p> <p>原因：学童保育の利用者は増加傾向にありますが、これに対応するため、施設の新設や学校プール管理棟の改修を行い、供給体制を強化し対応することができたことが要因と考えられます。</p>							

### 02 子どもの遊び場の確保

成果指標名	単位	R2 評価	基準値 (H26)	R1年度	R2年度	目標値 (R2)	担当課
子どもが放課後等安心して遊ぶ場所があると思う保護者の割合	%	◎	45.0	51.6	62.4	45.0	こども政策課
<p>状況：令和元年度に比べ10.8ポイント増加しており、目標を達成しました。</p> <p>原因：児童センター等の周知、指定管理者等の業務習得が図られたことが要因と考えられます。</p>							

## 03 子育てのための経済支援

成果指標名	単位	R2 評価	基準値 (H26)	R1年度	R2年度	目標値 (R2)	担当課
児童医療費助成登録認定率	%	○	93.0	98.0	99.0	100.0	こども政策課
<p>状況：令和元年度に比べ、1.0ポイント増加してします。</p> <p>原因：出生や転入時における手続きを遺漏なく進めるため、関係機関と連携して目標値達成を目指しています。しかし、施設入所児や出生後間もなく加入保険の発行を待つ方がいるため、100%達成が難しいものと考えられます。</p>							
経済的負担軽減サービスを受けているひとり親家庭数	世帯	-	373	358	390	-	こども政策課
<p>状況：令和元年度に比べ、32世帯増加しています。</p> <p>原因：ひとり親医療費助成受給資格者数は、増減で成果を判断するものではなく、目標値が定められていません。ひとり親家庭が各種制度を理解していることが重要であるため、今後も制度の周知に努めていきます。</p>							
婚姻数	件	×	216	203 (212)	153	220	総合政策課
<p>状況：目標を下回っています。 ※ ( ) 内の数値は確定値。</p> <p>原因：結婚支援事業（咲くらコン）については、全2回実施するところを新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止となりました。社会全体の傾向として結婚式自体を延期する傾向にあります。</p>							

## 04 子育て不安の解消

成果指標名	単位	R2 評価	基準値 (H26)	R1年度	R2年度	目標値 (R2)	担当課
子育てについて気軽に相談できる相手がいる保護者の割合	%	△	98.6	98.5	98.2	98.6	こども政策課
<p>状況：令和元年度に比べ、0.3ポイント減少しており、目標を達成できませんでした。</p> <p>原因：人間関係の希薄化に加え、新型コロナウイルス感染症の影響が減少の要因と考えられます。子育て世代包括支援センターや子育て支援拠点及び要保護児童対策地域協議会を活用し、子育てをする家庭が孤立しない相談体制の推進が必要と考えられます。</p>							
市の子育て相談・情報交換の場を知っている保護者の割合	%	○	53.0	66.3	66.3	70.0	こども政策課
<p>状況：令和元年度と同一値であり、目標を達成できませんでした。</p> <p>原因：ホームページの案内、出生や転入時に子育て家庭に対し「子育てガイドブック」を提供しておりますが、更なる子育てサービスの情報の周知が必要と考えられます。</p>							

## Ⅱ-6 生活を支援する社会保障と社会福祉

成果指標名	単位	R2 評価	基準値 (H26)	R1年度	R2年度	目標値 (R2)	担当課
社会福祉（社会保障）の充実に関する市民満足度	%	◎	82.1	86	89.1	85.1	福祉課
<p>状況：目標値を4.0ポイント上回っており、目標を達成しています。</p> <p>原因：国、県、市それぞれにおける社会福祉（社会保障）施策に関し、一定の評価が得られおり、市民満足度につながっていると考えられます。</p>							

### 01 医療保険制度の健全運営

成果指標名	単位	R2 評価	基準値 (H26)	R1年度	R2年度	目標値 (R2)	担当課
国民健康保険税収納率	%	◎	88.3	95.3	96.5	91.0	市民課
<p>状況：令和元年度と比較して、1.2ポイント上昇し、計画目標値を達成しています。</p> <p>原因：収納対策室において、財産調査を定期的を実施するなど、滞納処分等に適宜対応していることが主な原因と考えられます。</p>							
後期高齢者保険料収納率	%	◎	97.8	99.3	99.5	99.4	市民課
<p>状況：令和元年度と比較して、0.2ポイント上昇し、計画目標値を達成しています。</p> <p>原因：収納対策室において、財産調査を定期的を実施するなど、滞納処分等に適宜対応していることが主な原因と考えられます。</p>							

### 02 介護保険制度の健全運営

成果指標名	単位	R2 評価	基準値 (H26)	R1年度	R2年度	目標値 (R2)	担当課
介護保険料収納率	%	◎	84.1	94.1	95.3	86.0	高齢課
<p>状況：令和元年度と比較して、1.2ポイント上昇し、計画目標値を達成しています。</p> <p>原因：収納対策室において、財産調査を定期的を実施する等、滞納処分等に適宜対応していることが主な原因と考えられます。</p>							

03 生活困窮者の支援

成果指標名	単位	R2 評価	基準値 (H26)	R1年度	R2年度	目標値 (R2)	担当課
市民1,000人あたりの生活保護者数	人	-	6.48	6.25	5.94	-	福祉課
<p>状況：令和元年度比で0.31人減少し、令和2年度において5.94人となりました。これは、令和2年度における県平均10.40人と比べても低い状況です。</p> <p>原因：市民1,000人あたりの生活保護者数は引き続き減少傾向にあります。保護の開始件数は令和元年度が23件、令和2年度が27件と若干増加したものの、廃止件数は令和元年度が42件、令和2年度が22件と大きく減少し、令和2年度においては開始件数が廃止件数を上回る状況となりました。</p>							
自立による生活保護廃止件数	件	◎	4	14	8	4	福祉課
<p>状況：令和元年度において14件であったものが、令和2年度においては8件に減少したものの、引き続き目標値である4件を引き続き達成している状況です。</p> <p>原因：年間の廃止件数22件のうち、就労収入の増加等による保護の廃止件数が8件（36.3%）を占めており、継続した就労指導等の実施により保護者の自立を促進できたことと考えられます。</p>							
支援により生活困窮状態が改善された件数	件	○	0	3	1	20	福祉課
<p>状況：令和元年度は3件であったものが、令和2年度においては1件に減少し、目標値である20件には及ばない状況となっています。</p> <p>原因：令和2年度はさくら市社会福祉協議会への業務委託による事業実施の2年目ですが、同法人における事業実施のノウハウ等の蓄積が不十分であり、直営で実施していた平成30年度に比して指標の達成状況が低下したと考えられます。</p>							

04 安全で快適な公営住宅の供給

成果指標名	単位	R2 評価	基準値 (H26)	R1年度	R2年度	目標値 (R2)	担当課
長寿命対策を実施した公営住宅戸数の割合	%	○	34.6	45.2	45.2	100.0	建設課
<p>状況：R2年度は、長寿命化型改善工事を実施していないため、R元年度同様の値になっており、目標を達成できておりません。</p> <p>原因：長寿命化計画に基づき順次工事を進める計画でありましたが、ひばりヶ丘40戸、上阿久津28戸、草川42戸の長寿命化型改善工事は、劣化状況が小規模であること及び財政的な理由等により、令和3年3月策定の次期計画へ見送ったことが要因です。</p>							

### 政策Ⅲ 文化薫る心豊かな人材の育成

#### Ⅲ-1 健やかに人を育み生涯にわたる学習活動の推進

成果指標名	単位	R2 評価	基準値 (H26)	R1年度	R2年度	目標値 (R2)	担当課
自主的な生涯学習活動に参加している市民の割合	%	×	30.4	29.0	24.3	32.0	生涯学習課
<p>状況：令和元年度と比べると4.7ポイント減少しており、目標値を7.7ポイント下回っています。</p> <p>原因：新型コロナウイルス感染拡大の影響により活動を自粛した方がいたこと等が原因と考えられます。</p>							

#### 01 学ぶ機会の充実

成果指標名	単位	R2 評価	基準値 (H26)	R1年度	R2年度	目標値 (R2)	担当課
生涯学習講座・イベントの参加者数	人	×	18,291	21,926	5,570	18,500	生涯学習課
<p>状況：令和元年度と比べると16,356人減少しており、目標値を12,930人下回っています。</p> <p>原因：新型コロナウイルス感染拡大の影響によりイベント、講座等が中止や縮小されたことに加え、感染予防対策として参加人数の制限等の措置が講じられたこと、更に自主的に参加を控えた方がいたこと等が原因と考えられます。</p>							
図書館の利用者数	人	×	147,626	165,827	112,683	150,000	生涯学習課
<p>状況：令和元年度と比べると53,144人減少しており、目標値を37,317人下回っています。</p> <p>原因：新型コロナウイルス感染拡大を理由とした閉館期間を設けたことや、利用者を市民に限定する等の措置を行ったことのほか、自主的に利用を控えた方が多かったこと等が原因と考えられます。</p>							
生涯学習の機会や場の満足度	%	◎	78.1	83.1	84.4	79.0	生涯学習課
<p>状況：令和元年度と比べると1.3ポイント増加しており、目標値を5.4ポイント上回っています。</p> <p>原因：公民館の大規模改修の実施やWi-Fi環境を整備したことで施設の利便性が向上したことが原因と考えられます。</p>							



## 02 青少年健全育成体制の強化

成果指標名	単位	R2 評価	基準値 (H26)	R1年度	R2年度	目標値 (R2)	担当課
青少年の健全育成に関心を持っている市民の割合	%	×	63.6	48.4	46.6	65.0	生涯学習課

状況：令和元年度に比べると1.8ポイント減少しておりますが横這いの状態が続いています。目標値を18.4ポイント下回っています。

原因：青少年健全育成に関する事業については、事業の性質上青少年と青少年を持つ親世代に対しては浸透しているが、それ以外の世代においては十分に浸透していない状況が続いていることが原因と考えられます。

## 03 家庭教育支援の充実

成果指標名	単位	R2 評価	基準値 (H26)	R1年度	R2年度	目標値 (R2)	担当課
家庭教育支援に関する講座や学級・研修会等の参加者数	人	×	1,484	1,735	1,378	1,750	生涯学習課

状況：令和元年度と比べると357人減少しており、目標値を372人下回っています。

原因：新型コロナウイルス感染拡大の影響により、一部の講座が中止されたことや、講座への参加を控えた方がいたこと等が原因と考えられます。

### Ⅲ-2 芸術・文化・歴史があふれる市民文化の継承

成果指標名	単位	R2 評価	基準値 (H26)	R1年度	R2年度	目標値 (R2)	担当課
芸術・文化・歴史に関する事業に参加した市民の割合	%	×	43.7	46.9	36.5	43.7	生涯学習課
<p>状況：令和元年度と比較すると、10.4ポイント減少しています。</p> <p>原因：新型コロナウイルス感染拡大で催物の開催制限を受けたことにより、芸術文化の鑑賞機会が減少したことによるものと考えられます。また、外出控えも一因になっていると考えられます。</p>							

#### 01 芸術文化活動の推進

成果指標名	単位	R2 評価	基準値 (H26)	R1年度	R2年度	目標値 (R2)	担当課
文化事業参加者数	人	×	15,441	3,380	577	6,000	生涯学習課
<p>状況：令和元年度と比較すると、2,803人減少しています。</p> <p>原因：新型コロナウイルス感染拡大の影響等により、事業の中止や縮小を行ったことによるものと考えられます。</p>							

#### 02 歴史的文化的資源の保存・継承・利活用

成果指標名	単位	R2 評価	基準値 (H26)	R1年度	R2年度	目標値 (R2)	担当課
指定文化財に親しんだ市民の割合	%	×	30.9	31.5	14.6	31.5	生涯学習課
<p>状況：令和元年度と比較すると16.9ポイント減少となっています。</p> <p>原因：新型コロナウイルス感染拡大の影響で瀧澤家での企画展やイベントをはじめ、文化財関連の行事が中止となったことが原因と考えられます。</p>							

## 03 博物館の整備・充実

成果指標名	単位	R2 評価	基準値 (H26)	R1年度	R2年度	目標値 (R2)	担当課
来館者数	人	○	18,032	22,706	20,092	23,000	生涯学習課
<p>状況：令和元年度と比較すると2,614人の減少となっています。</p> <p>原因：入館者数の減少の理由は、新型コロナウイルス感染拡大による臨時休館をはじめ、イベント行事等の中止によるものです。</p>							
収蔵資料数	件	◎	5,777	7,316	7,322	6,000	生涯学習課
<p>状況：令和元年度と比較すると6件増加し、目標値を達成しています。</p> <p>原因：歴史、考古、美術分野と幅広い資料の収集が実現され、地域の博物館として市民への理解が広まっていると考えられます。</p>							
企画展観覧者の満足度	%	◎	92.3	98.0	94.0	93.0	生涯学習課
<p>状況：令和元年度と比較すると4ポイント下がっていますが目標値を達成しています。</p> <p>原因：新型コロナウイルス感染拡大防止のため、臨時休館及び市内、県内限定の来館を呼びかけ、さらに万全の感染症対策を行って開館しましたが、企画展についてとても良いの回答が多く目標値に達しました。</p>							

### Ⅲ-3 確かな学力と健やかな心や体を育む学校教育

成果指標名	単位	R2 評価	基準値 (H26)	R1年度	R2年度	目標値 (R2)	担当課
学校に行くのが楽しいと思っている児童の割合	%	-	86.7	91.4	-	90.0	学校教育課
<p>状況：令和2年度の指標値は取得できませんでした。</p> <p>原因：コロナ禍により令和2年度は全国学力・学習状況調査が中止となったためです。</p>							
学校に行くのが楽しいと思っている生徒の割合	%	-	91.2	85.5	-	95.0	学校教育課
<p>状況：令和2年度の指標値は取得できませんでした。</p> <p>原因：コロナ禍により令和2年度は全国学力・学習状況調査が中止となったためです。</p>							

#### 01 確かな学力の育成

成果指標名	単位	R2 評価	基準値 (H26)	R1年度	R2年度	目標値 (R2)	担当課
基礎的な学力が身につけている児童の割合	%	×	94.2	91.6	89.8	95.0	学校教育課
<p>状況：令和元年度と比較し、1.8ポイント低下しました。目標値を達成できませんでした。</p> <p>原因：当該年度の学年によって学力にも波があるため、単純に前年度との比較だけでは評価しづらい面がありますが、令和2年度から評価方法が変わった（4段階→3段階）ことにより、これまでより低い評価となる児童の割合が相対的に増加した影響があると思われます。</p>							
基礎的な学力が身につけている生徒の割合	%	×	71.9	75.6	69.0	75.0	学校教育課
<p>状況：令和元年度と比較し、6.6ポイント低下しました。目標値を達成できませんでした。</p> <p>原因：当該年度の学年によって学力にも波があるため、単純に前年度との比較だけでは評価しづらい面がありますが、春の一斉休校などコロナ禍による社会の混乱が学習に影響を与えたほか、様々な要因により学力が身につけていない生徒の割合が増加したと思われます。</p>							
研修や自己研鑽に積極的な教職員の割合	%	×	43.6	17.4	20.6	50.0	学校教育課
<p>状況：令和元年度と比較し、3.2ポイント上昇しました。目標値を達成できませんでした。</p> <p>原因：令和元年度より本指標が教職員の給与に反映されることになったため基準が厳格化され、評定を取ることが困難になりました。</p>							

02 豊かな心と健やかな体の育成

成果指標名	単位	R2 評価	基準値 (H26)	R1年度	R2年度	目標値 (R2)	担当課
不登校者数の割合（小学校）	%	×	0.7	1	1.1	0.4	学校教育課
<p>状況：令和元年度と比較し、0.1ポイント上昇しました。目標値を達成できませんでした。</p> <p>原因：「魅力ある学校づくり調査研究事業」の趣旨を継続し、不登校の未然防止に努力しています。月5日以上欠席の児童生徒の報告を受け、学校と情報共有したり、研修を行うなどの対応をしています。クラスに登校できない生徒に対しては、別室登校の対応のための臨時講師を配置するなどして、不登校解消に取り組んでいます。</p>							
不登校者数の割合（中学校）	%	×	4.2	5.4	5.9	3.6	学校教育課
<p>状況：令和元年度と比較し、0.5ポイント上昇しました。目標値を達成できませんでした。</p> <p>原因：「魅力ある学校づくり調査研究事業」の趣旨を継続し、不登校の未然防止に努力しています。月5日以上欠席の児童生徒の報告を受け、学校と情報共有したり、研修を行うなどの対応をしています。クラスに登校できない生徒に対しては、別室登校の対応のための臨時講師を配置するなどして、不登校解消に取り組んでいます。</p>							
図書室で借りた図書の冊数（小学校）	冊	×	33.5	38.3	29.3	36.0	学校教育課
<p>状況：令和元年度と比較して9ポイント低下しました。目標値を達成できませんでした。</p> <p>原因：全学年では43.3冊であるため、高学年になるにつれ読書離れが進む状況が見取れます。Youtubeなど本以外のメディアが普及し、家庭での過ごし方が変化したため、向上させることが難しくなっていますが、図書事務員による図書室の環境整備を推進し、図書の貸し出しの増加に取り組んでいます。</p>							
図書室で借りた図書の冊数（中学校）	冊	○	6.7	8.7	9.4	10.0	学校教育課
<p>状況：令和元年度と比較して0.7ポイント上昇しました。目標値を達成できませんでした。</p> <p>原因：Youtubeなど本以外のメディアが普及し、家庭での過ごし方が変化したため、向上させることが難しくなっていますが、図書事務員による図書室の環境整備を推進し、図書の貸し出しの増加に取り組んでいます。</p>							

## 03 安全・安心な教育環境の実現

成果指標名	単位	R2 評価	基準値 (H26)	R1年度	R2年度	目標値 (R2)	担当課
小中学校校舎・施設の長寿命化改修率	%	○	0.0	12.5	12.5	25.0	学校教育課
<p>状況：目標は、8校中2校の長寿命化改修工事を実施することでしたが、平成30年度に喜連川中学校の長寿命化改修工事を実施後、新たな長寿命化改修工事を実施することができたかったため、目標を達成することができませんでした。</p> <p>原因：令和2年度に実施を予定していた押上小学校の長寿命化改修工事を令和3年度に繰越して実施することになったためです。</p>							
施設維持管理上の不備による教育支障件数	件	◎	0	0	0	0	学校教育課
<p>状況：平成27年から目標を達成することができました。</p> <p>原因：施設の不具合等について、学校からの報告・相談を受けた後、即時対応しているため、0件であったと思われます。</p>							
登下校時の児童生徒の事件・事故件数	件	△	9	4	10	5	学校教育課
<p>状況：令和元年度と比較して、6件増加しました。目標値を達成できませんでした。</p> <p>原因：登下校時の事件・事故には注意するよう学校で指導していますが、児童・生徒が要因ではない事故に巻き込まれているケースもあり、毎年数件の発生があります。軽微な接触事故がほとんどであり、大きな怪我等を負った事例はありませんでした。</p>							
学校経営・学習支援などにかかわったボランティアの活動件数	件	-	581	-	-	600	学校教育課
<p>平成27年度調査より質問項目から削除されたため、当該指標は取得できませんでした。</p>							

### Ⅲ-4 充実した生涯スポーツ社会の実現

成果指標名	単位	R2 評価	基準値 (H26)	R1年度	R2年度	目標値 (R2)	担当課
週1回以上スポーツ、レクリエーションをしている市民の割合	%	○	30.2	31.5	31.7	33.0	スポーツ振興課
<p>状況：令和元年度と比較して0.2ポイント増加しています。</p> <p>原因：アンケート回答者の生活様式やスポーツへの取組み方等により、アンケート結果に反映された部分があると考えます。スポーツに取り組む市民の割合を維持・向上させるため、さらなるスポーツの普及啓発を行っていくことが重要です。</p>							

#### 01 生涯スポーツ活動の充実

成果指標名	単位	R2 評価	基準値 (H26)	R1年度	R2年度	目標値 (R2)	担当課
各種スポーツ教室・大会の参加者数	千人	×	129	136	46	145	スポーツ振興課
<p>状況：令和元年度と比較して89.2千人減少しています。</p> <p>原因：新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、各種スポーツ教室や大会等が中止または規模縮小となったことから、参加者が大幅に減少しました。今後も、感染症対策等を講じながら、スポーツ活動の再開等を検討し、普及啓発を行うことが重要です。</p>							

#### 02 スポーツ施設の整備

成果指標名	単位	R2 評価	基準値 (H26)	R1年度	R2年度	目標値 (R2)	担当課
各体育施設の年間利用者数	千人	×	315	327	125	350	スポーツ振興課
<p>状況：令和元年度と比較し、202千人減少しています。</p> <p>原因：新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、各施設において休館・休場をしたためです。</p>							

#### 03 スポーツ団体・指導者の育成

成果指標名	単位	R2 評価	基準値 (H26)	R1年度	R2年度	目標値 (R2)	担当課
スポーツ団体数	団体	×	429	429	153	440	スポーツ振興課
<p>状況：令和元年度と比較して276団体減少しています。</p> <p>原因：新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、各種大会等の中止や各団体活動が中止となったことから、登録チーム数が大幅に減少しました。また、近年の傾向として団体競技から個人競技への指向性の変化がありますが、新型コロナウイルスの影響もあり、ウォーキングなど個人でのレクリエーション活動に移行が進んでいることが考えられます。</p>							
指導者数	人	×	312	412	260	340	スポーツ振興課
<p>状況：令和元年度と比較して152名減少しております。</p> <p>原因：新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、各種スポーツ教室等が中止や規模縮小となり参加者が減少したことに伴い、各教室の指導者も減少したためです。今後も、感染症対策等を講じながら、各教室の再開を検討し、指導者数の維持・向上を図りながら、指導者育成を継続していくことが重要です。</p>							

### Ⅲ-5 市民一人ひとりの人権尊重

成果指標名	単位	R2 評価	基準値 (H26)	R1年度	R2年度	目標値 (R2)	担当課
人権が侵害された市民のうち、相談できた市民の割合	%	△	39.6	50.0	37.9	50.0	福祉課
<p>状況：令和元年度から12.1ポイント減少し、目標値に達しませんでした。</p> <p>原因：「この1年間に人権が侵害されたことがある」と回答しているのは7.5ポイントで、令和元年度と比較し1.5ポイント減少しています。「黙って我慢した」が7.1ポイント、「相手に抗議した」が2.3ポイント増加しており、コロナ禍により人と会う機会が減り、人権侵害の場面が減ったものの、相談する機会も減ったものと推測されます。</p>							

#### 01 人権尊重意識の啓発

成果指標名	単位	R2 評価	基準値 (H26)	R1年度	R2年度	目標値 (R2)	担当課
この一年に人権を侵害する言動をした市民の割合	%	△	8.2	10.8	8.5	7.0	福祉課
<p>状況：令和元年度から2.3ポイント減少したものの、目標値を達成しませんでした。</p> <p>原因：アンケートの年齢別内訳によると令和元年度と比較して、各世代で減少しましたが、18～29歳が15.4ポイントと著しく減少しています。コロナ禍により人と会う機会が減ったためと推測されます。</p>							

#### 02 男女共同参画社会の推進

成果指標名	単位	R2 評価	基準値 (H26)	R1年度	R2年度	目標値 (R2)	担当課
委員会等における女性委員の割合	%	◎	23.3	30.7	32.3	27.0	総合政策課
<p>状況：令和元年度より1.6ポイント増加し、目標値を達成しました。</p> <p>原因：女性委員総数の増加し、男女共同参画の意識が向上してきたことが原因と考えられます。</p>							
家庭における男女が平等だと思う市民の割合	%	◎	67.5	65.8	69.1	69.0	総合政策課
<p>状況：令和元年度より3.3ポイント増加し、目標値を達成しました。</p> <p>原因：コロナ禍における男性が家庭にいる時間が増え、男性の家事等に参画する機会が増え、男女共同の意識が向上したことが要因と考えられます。</p>							
自治会等の地域活動の場で男女が平等だと思う市民の割合	%	◎	42.2	50.9	52.4	47.0	総合政策課
<p>状況：令和元年度より1.5ポイント増加し、目標値を達成しました。</p> <p>原因：女性活躍推進法の施行や、推進委員による各種啓発イベント、男女共同参画都市宣言、講座を通じ、概ね半数の市民の方に地域活動における男女共同参画への理解が浸透してきたことが原因と考えます。</p>							
男は仕事、女は家庭という固定的性別役割にとらわれない市民の割合	%	◎	32.7	78.0	76.5	35.0	総合政策課
<p>状況：令和元年度より1.5ポイント減少しましたが、目標値を達成しています。</p> <p>原因：性別、年齢、職業を問わず、全体的に高い傾向にあり、固定的性別役割にとらわれない男女共同参画社会が進んでいます。</p>							



## 03 子どもの人権尊重

成果指標名	単位	R2 評価	基準値 (H26)	R1年度	R2年度	目標値 (R2)	担当課
子どもの人権確保へのケース管理数	件	-	113	93	89	-	こども政策課
<p>状況：令和元年度に比べ、4件減少しています。</p> <p>原因：啓発活動等により児童虐待防止に対する市民の意識が高まり、児童虐待相談件数や児童虐待通告に繋がっています。育児不安等を背景とした、身近な子育て相談のニーズも高まり、母子保健との連携がとれています。また、心理的虐待（面前DV）が増加傾向にあり、婦人相談と連携がとれています。</p>							
児童虐待の一時保護・措置件数	件	-	23	6	23	-	こども政策課
<p>状況：令和元年度に比べ、17件増加しています。</p> <p>原因：虐待を受けている児童の一時保護・措置は、児童相談所（県）にて、迅速かつ適切に実施されています。また、啓発活動等により児童虐待防止に対する市民の意識が高まり、児童相談所に相談・通報することで一時保護・措置入所に繋がるケースがあると考えられます。対象になるさくら市在住のお子さんの兄弟数も増減に影響されます。</p>							

## 04 配偶者間の人権尊重

成果指標名	単位	R2 評価	基準値 (H26)	R1年度	R2年度	目標値 (R2)	担当課
配偶者の人権確保へのケース管理数	件	-	10	38	46	-	こども政策課
<p>状況：令和元年度に比べ、8件増加しています。</p> <p>原因：DVに関する周知活動等により身近にある相談機関の存在は認知され、相談件数の増加につながりました。相談者の抱える問題を理解し、安心して相談できる体制づくりに努めます。そのニーズに沿って、他の関係機関と連携がとれています。</p>							
配偶者からの暴力相談者の一時保護・措置件数	件	-	1	3	4	-	こども政策課
<p>状況：令和元年度に比べ、1件増加しています。</p> <p>原因：DVに関する周知活動等により、市が身近に相談できる機関として認知されたことで、早期の相談支援につながっていると考えられます。</p>							

## 05 高齢者の人権尊重

成果指標名	単位	R2 評価	基準値 (H26)	R1年度	R2年度	目標値 (R2)	担当課
高齢者の人権確保へのケース管理数	件	-	64	36	49	-	高齢課
<p>状況：令和元年度と比較して13件増加しています。</p> <p>原因：高齢者に関する相談については、内容が多様化してきており、相談件数の増加に繋がったものと考えられます。</p>							
高齢者の一時保護・措置件数	件	-	3	1	1	-	高齢課
<p>状況：令和元年度と横ばいとなっています。</p> <p>原因：高齢者虐待について継続して広報活動を行ったことにより、民生委員や市民の虐待に対する知識が高まり理解が浸透してきたと考えられます。地域全体が虐待事案に気づき、通報を行うことで、迅速な支援対応に繋がっています。</p>							

## 政策Ⅳ 時代とニーズに合致した農林漁業の確立

### Ⅳ-1 時代とニーズに合致した農林漁業の確立

成果指標名	単位	R2 評価	基準値 (H26)	R1年度	R2年度	目標値 (R2)	担当課
農林水産業総生産額（出典：栃木県市町村民経済生産）	百万円	△	6,646 (H24)	6,503	6,575	6,646	農政課
<p>状況：令和元年度（平成29年数値）と比較して、72百万円増加していますが、目標値には届きませんでした。</p> <p>原因：米の産出額は上昇しましたが、野菜の産出額が減少したためと思われます。</p>							

#### 01 付加価値の高い農林水産業の確立

成果指標名	単位	R2 評価	基準値 (H26)	R1年度	R2年度	目標値 (R2)	担当課
6次産業化実践者数	名・団体	◎	6	15	15	8	農政課
<p>状況：令和元年度から増加はなかったものの、目標値を達成しています。</p> <p>原因：新たに商品化や商品開発に至った者がいないものの、いちごを加工すること等の6次化に関する問い合わせがあったため、今後増加することが期待されます。</p>							
産地化・ブランド化した農林水産物・製品数	品	○	1	2	2	3	農政課
<p>状況：令和元年度から増減はありませんでした。</p> <p>原因：追加の申請及び終了したものがなかったためですが、新たにもち絹香（もち麦）をさくらブランドに申請する相談があり、今後、増加する可能性があります。</p>							

02 持続可能な農林水産業構造の構築

成果指標名	単位	R2 評価	基準値 (H26)	R1年度	R2年度	目標値 (R2)	担当課
耕作放棄地面積	ha	◎	46	30	19	46	農政課
<p>状況：令和元年度から11ha減少しています。</p> <p>原因：農業委員会の利用状況調査において、判定基準を見直した事により、耕作放棄地が大きく減少したものとされます。</p>							
認定農業者数	名	×	370	338	327	388	農政課
<p>状況：令和元年度から11名減っています。</p> <p>原因：新規申請者がいる一方、高齢化等によりリタイアする農業者が増えていることが原因とされます。</p>							
新規就農者数	人	×	5	5	4	13	農政課
<p>状況：令和元年度より1名減少しています。</p> <p>原因：塩谷管内でも減少傾向であり、就農希望者が減少してきているとされます。</p>							
生産性向上への農地集約または集積化が成された面積	ha	◎	49	226	255	52	農政課
<p>状況：令和元年度より29ha増加しています。</p> <p>原因：昨年度より増加面積は減少しているが、着実に農地の集積化は図られているとされます。</p>							

03 地産地消等による農林水産業への理解推進

成果指標名	単位	R2 評価	基準値 (H26)	R1年度	R2年度	目標値 (R2)	担当課
直売所及び加工センター総販売額	百万 円	◎	909	1,154	1,117	1,054	農政課
<p>状況：令和元年より37百万円減少していますが、目標値は達成しています。</p> <p>原因：新型コロナウイルスの影響で、道の駅きつれがわ、JA鹿子畑直売所、JA直売所さくらで売上が減少しています。</p>							
学校給食における地元食材活用額	千円	◎	1,785	3,297	4,708	1,785	農政課
<p>状況：令和元年よりも1,411千円増加しており、目標値を達成しています。</p> <p>原因：学校給食における地元食材の活用が広く認識されてきたことにより、地元食材を取り扱っている菜っ葉館や道の駅きつれがわの売上が上がったと思います。</p>							

## IV-2 安定と発展の商工業基盤の充実と強化

成果指標名	単位	R2 評価	基準値 (H26)	R1年度	R2年度	目標値 (R2)	担当課
商業生産額（出典：栃木県市町村民経済生産）	百万円	×	(10,089) 10,900 (H24)	(9,795) 9,788 (H29)	9,616 (H30)	12,000	商工観光課
<p>状況：調査方法の見直しあり。（ ）の数値。令和元年度より179百万円減少し、目標値に届きませんでした。</p> <p>原因：宇都宮が隣接していることもあり、商業エリアとしては厳しい状況であることに加え、高齢化等による小規模店の廃業なども要因と思われます。</p>							
工業生産額（出典：栃木県市町村民経済生産）	百万円	◎	(62,126) 53,002 (H24)	(77,356) 77,601 (H29)	77,363 (H30)	57,600	商工観光課
<p>状況：調査方法の見直しあり。（ ）の数値。令和元年度より7百万円増加し、目標達成ができました。</p> <p>原因：事業所数は減少傾向ですが、統廃合による事業規模の拡大や効率化、設備投資による生産性の向上などによるものと思われます。</p>							

### 01 商業の活性化

成果指標名	単位	R2 評価	基準値 (H26)	R1年度	R2年度	目標値 (R2)	担当課
日用品等を買う場所が近所になくて困っている市民の割合	%	○	19.9	19.9	17.5	15.0	商工観光課
<p>状況：令和元年度より2.4ポイント減少しましたが、目標値には届きませんでした。</p> <p>原因：郊外でのドラッグストア等の開設の他、中心市街地での民間事業所による移動販売などにより改善が図られていると思われます。</p>							
商業の事業所数（出典：経済センサス、商業統計調査）	件	-	334 (H24)	-	-	334	商工観光課
<p>状況：調査が実施されていないため値は不明です。</p> <p>原因：—</p>							

### 02 工業の振興

成果指標名	単位	R2 評価	基準値 (H26)	R1年度	R2年度	目標値 (R2)	担当課
工業の事業所数（出典：工業統計調査）	件	×	108 (H25)	100	100	115	商工観光課
<p>状況：令和元年度から増減なしとなり、目標値には届きませんでした。</p> <p>原因：事業所の減少傾向は継続しているものの、企業誘致の成果等もあり現状維持となったものと思われます。</p>							
新規または増設した工場の数（工場誘致条例に基づく補助企業数）	件	○	7 (H22～H26累計)	2	4	10 (5年間累計)	商工観光課
<p>状況：令和元年度より2件増加しましたが、目標値には届きませんでした。</p> <p>原因：設備投資が増加傾向にあることや、企業誘致・支援アドバイザーの活動が効果を上げているものと思われます。</p>							

## 03 中小企業の経営基盤の強化支援

成果指標名	単位	R2 評価	基準値 (H26)	R1年度	R2年度	目標値 (R2)	担当課
商工会の会員企業数	件	×	1,017	947	959	1,017	商工観光課
<p>状況：令和元年度より12企業増加しましたが、目標値には届きませんでした。</p> <p>原因：新型コロナの影響により、商工会の支援を希望する企業が増加したためと思われます。</p>							

## 04 まちなかのにぎわい創出

成果指標名	単位	R2 評価	基準値 (H26)	R1年度	R2年度	目標値 (R2)	担当課
氏家駅周辺に賑わいがあると思う市民の割合	%	△	14.3	17.3	12.9	16.5	商工観光課
<p>状況：令和元年度より4.4ポイント減少し、目標達成から一転、目標値を下回りました。</p> <p>原因：新型コロナの影響により、飲食店等の休業や時短、イベントの実施などもできなかったためと思われます。</p>							
喜連川支所周辺に賑わいがあると思う市民の割合	%	×	7.0	7.3	4.6	8.0	商工観光課
<p>状況：令和元年度より2.7ポイント減少し、目標達成ができませんでした。</p> <p>原因：新型コロナの影響により、飲食店等の休業や時短、イベントの実施などもできなかったためと思われます。</p>							

## 05 雇用環境の充実

成果指標名	単位	R2 評価	基準値 (H26)	R1年度	R2年度	目標値 (R2)	担当課
就業者数（個人市民税の納税者数）	人	◎	18,248	19,443	19,577	19,500	商工観光課
<p>状況：令和元年度より134人増加し、目標値を達成できました。</p> <p>原因：さくら市への転入者は横ばいであるが、定年後も再雇用等で働いている高齢者が増加したのではないかと考えられます。</p>							
新規創業者数※累計	人	◎	-	19	28	<sup>23</sup> (H27～R02累計)	商工観光課
<p>状況：令和元年度より9人増加し、累計28人となり目標達成ができました。</p> <p>原因：国において認定された創業支援事業が開始され、両商工会、市及び栃木県産業振興センターが連携し、相談窓口設置等による支援体制の整備が図られたことによると思われます。</p>							

### IV-3 地域資源を活かした観光の振興

成果指標名	単位	R2 評価	基準値 (H26)	R1年度	R2年度	目標値 (R2)	担当課
観光客入込数	人	○	700,428	1,954,537	1,315,739	1,900,000	商工観光課
<p>状況：令和元年度と比較して、638,798人減少し、目標値を達成できませんでした。</p> <p>原因：新型コロナウイルス感染症の影響で、観光地への外出を自粛した人が多かったことが要因です。</p>							
観光客宿泊数	人	△	60,743	109,469	60,130	80,000	商工観光課
<p>状況：令和元年度と比較して、49,339人減少し、目標値を大幅に下回っています。</p> <p>原因：新型コロナウイルス感染症の影響で、宿泊を自粛した人が多かったことが要因です。</p>							

#### 01 観光PRの充実

成果指標名	単位	R2 評価	基準値 (H26)	R1年度	R2年度	目標値 (R2)	担当課
観光協会ホームページアクセス件数	人	◎	51,000	207,709	300,419	100,000	商工観光課
<p>状況：令和元年度と比較して、92,710ページビュー増加し、目標値を達成しました。</p> <p>原因：令和元年度より立ち上げた、さくら市観光ナビの認知度が上がり、アクセス者が増加したためと考えられます。</p>							
マスクミへの露出件数（マスクミ等の取材による露出件数）	人	×	87	88	25	150	商工観光課
<p>状況：令和元年度より63件減少し、目標値を達成できませんでした。</p> <p>原因：新型コロナウイルス感染症の影響で、各種イベントが中止となり、イベントの告知やイベント実施に対する取材等が減少したためです。</p>							
ホームページのアクセス件数（市HP・移住促進HP）	件	◎	671,491	718,911	1,016,709	740,000	総合政策課
<p>状況：令和元年度から297,798件増加し、目標値に達しました</p> <p>原因：新型コロナウイルスに関する感染や支援の発信を積極的に市HPで実施したことへの閲覧増が原因と考えられます。 アフターコロナでも、HPの閲覧をして観光客入れ込み数の増加につながるような取り組みが必要です。</p>							

## 02 観光資源の充実と創出

成果指標名	単位	R2 評価	基準値 (H26)	R1年度	R2年度	目標値 (R2)	担当課
観光資源のリニューアル件数	件	△	1	1	1	2	商工観光課
<p>状況：令和元年度においては1件のリニューアルがありました。計画期間内で目標値を達成できた年度はありませんでした。</p> <p>原因：コンタ君シールを新たに作成の1件のみとなったためです。</p>							
新たな観光資源数	件	○	-	12	14	15 (5年間累計)	商工観光課
<p>状況：令和2年度において、2件の新たな観光資源が創出されました。</p> <p>原因：道の駅きつれがわにウッドデッキを設置し、利用者の憩いの場としました。また、さくらスクエア内に、滞留空間となるような階段ベンチを設置しました。</p>							

## 03 観光施設の維持管理

成果指標名	単位	R2 評価	基準値 (H26)	R1年度	R2年度	目標値 (R2)	担当課
観光施設の不具合・トラブルによる不稼働日数	日	◎	50	0	0	40	商工観光課
<p>状況：観光施設の不具合・トラブルによる不稼働日は無く目標値を達成しました。</p> <p>原因：観光施設の不具合・トラブルによる不稼働日はありませんでしたが、新型コロナウイルス感染症の影響で、利用制限や臨時休館を実施しました。</p>							

## 政策Ⅴ 機能的で住みやすい安全な都市機能

### V-1 安全で快適な交通環境の充実

成果指標名	単位	R2 評価	基準値 (H26)	R1年度	R2年度	目標値 (R2)	担当課
公共交通（鉄道・バス・乗合タクシー）に満足している市民の割合	%	△	60.4	54.7	61.8	70.0	総合政策課
<p>状況：令和元年度より実績値が7.1ポイント向上しました。 基準値より4.6ポイント向上しましたが、目標値との差は8.2ポイントで、目標を達成できませんでした。 交通の種類別の数値は、鉄道：77.1%・バス：39.9%・乗合タクシー：68.5%で、いずれも基準値より向上しました。</p> <p>原因：計画期間中に実施したフィオーレ線の路線変更、うのはな号の運行区域拡大等の事業が奏功したため、基準値より向上したと考えます。</p>							
道路整備に満足している市民の割合	%	○	72.1	72.9	74.6	75.0	建設課
<p>状況：令和元年度より1.7ポイント上回り、目標をほぼ達成しています。</p> <p>原因：計画的に市道を整備してきたことにより、市内の道路ネットワークが構築され、円滑な移動に寄与していることに加え、多様化したニーズや生活者の視点に立ったきめ細やかな整備に取り組んでいるためです。</p>							

#### 01 公共交通機関の確保

成果指標名	単位	R2 評価	基準値 (H26)	R1年度	R2年度	目標値 (R2)	担当課
買い物・通院等に交通手段がなく困っている市民の割合	%	△	13.0	13.3	12.3	10.0	総合政策課
<p>状況：令和元年度より実績値が1.0ポイント向上しました。 基準値より0.7ポイント向上しましたが、目標値との差は2.3ポイントで、目標を達成できませんでした。 「氏家地区居住」「家族人数2人以下」の市民の数値が基準値より向上し、「喜連川地区居住」の市民の数値が基準値より悪化しました。</p> <p>原因：25年度から運行を開始し、29年度から氏家地区全域に区域を拡大したうのはな号の運行が奏功したため、基準値より数値が向上したと考えます。 一方、計画期間中にコンタ号の大きな制度改善が図れなかったため「喜連川地区居住」の市民の数値が悪化したと考えます。 R3年度からコンタ号を増便しましたが、その効果を見極めたいと考えます。</p>							
通勤・通学に困っている、不便だと思う市民の割合	%	◎	25.9	25.8	23.6	25.0	総合政策課
<p>状況：令和元年度より実績値が2.3ポイント向上し、目標を達成しました。</p> <p>原因：令和元年度はコロナ禍による緊急事態宣言の発令等により、中期的にバスの便数の削減等が行われ、乗車人員数も大きく減少しました。 その後、便数は回復しましたが、減少した乗車人員数は完全に回復していません。 それに関わらず2年度の実績値は、元年度実績値・基準値より向上していることから、通勤・通学の手段から公共交通を除外する市民が増加したと考えられます。</p>							



## 02 安全で快適な道路の整備

成果指標名	単位	R2 評価	基準値 (H26)	R1年度	R2年度	目標値 (R2)	担当課
市道改良率	%	◎	83.7	84.6	84.8	84.7	建設課
<p>状況：計画どおり改良が進んでいます。</p> <p>原因：道路改良工事を継続的に実施していることに加えて、計画どおりに改良できるよう道路用地の先行取得に努めてきたことが要因と思われます。</p>							
歩行者自転車通行帯の整備済み延長	m	○	52,876	58,039	58,398	60,000	建設課
<p>状況：整備は進んでいるものの、目標の達成には更なる整備が必要です。</p> <p>原因：通学路安全点検結果に基づいて整備を進めてきましたが、道路の拡幅整備が必要な路線があり、整備期間が長期化しているためです。</p>							

## 03 道路・橋梁の長寿命化と維持管理

成果指標名	単位	R2 評価	基準値 (H26)	R1年度	R2年度	目標値 (R2)	担当課
市が道路管理者として責任を負った事故件数	件	△	2	0	2	0	建設課
<p>状況：2件事故が発生したため、目標を達成できませんでした。</p> <p>原因：市民からの通報やパトロールにより発見した損傷箇所の早期補修に努めていますが、発見や補修についてやむを得ない時間差もあり事故が発生してしまったことが原因だと思われます。</p>							
長寿命化対策として舗装補修を実施した道路延長（累積）	m	○	0	5,989	7,857	10,000	建設課
<p>状況：舗装長寿命化修繕計画に基づき整備を進めていますが、進捗は遅れています。</p> <p>原因：舗装補修予算が不足しているためです。</p>							

## V-2 魅力ある良好な市域の形成

成果指標名	単位	R2 評価	基準値 (H26)	R1年度	R2年度	目標値 (R2)	担当課
良好な住生活環境のための計画的な土地利用ができて いると感じる市民の割合	%	◎	49.7	54.7	57.0	55.0	都市整備課
<p>状況：基準値から7.3ポイント増加しており、目標値を2.0ポイント上回り目標を達成しています。</p> <p>原因：土地利用計画に基づき適正な土地利用がなされている結果と思われます。</p>							

### 01 良好な街並み・景観の形成

成果指標名	単位	R2 評価	基準値 (H26)	R1年度	R2年度	目標値 (R2)	担当課
まちなみの景観が良好だと思ふ市民の割合	%	◎	78.5	83.1	83.1	80.0	都市整備課
<p>状況：基準値から4.6ポイント増加し、目標値を3.1ポイント上回り目標を達成しています。</p> <p>原因：市民の景観に対する意識の向上している結果と思われます。</p>							
土地利用調整基本計画に適合しない開発件数	件	◎	0	0	0	0	総合政策課
<p>状況：0件で推移し、目標値を達成しています。</p> <p>原因：適正な土地利用がなされるよう協議したことが原因と思われます。</p>							

## 02 定住・転入の促進

成果指標名	単位	R2 評価	基準値 (H26)	R1年度	R2年度	目標値 (R2)	担当課
転入超過数	人	◎	3	98	28	24	総合政策課
<p>状況：目標を達成しています。</p> <p>原因：定住人口の増加を目指す施策の効果によるものと思われます。</p>							
住宅建築棟数	棟	◎	303	241	241	1,380 (5年間累計)	都市整備課
<p>状況：令和元年度と同棟数増加しています。累計1652棟で目標値を達成しています。</p> <p>原因：立地条件に恵まれた大野地区周辺や上阿久津台地区画整理事業による宅地分譲が増加したことが原因と思われます。</p>							
民間開発による供給区画数（新規に1,000㎡以上の宅 地開発をされた分譲区画数）	区画	◎	33	56	24	232 (H27～R02累計)	都市整備課
<p>状況：令和元年度より32区画減少しています。累計は272区画で目標値を達成しています。</p> <p>原因：立地条件に恵まれた大野地区周辺の宅地分譲が増加したことが原因と思われます。</p>							

## 03 みどりの憩い空間の形成

成果指標名	単位	R2 評価	基準値 (H26)	R1年度	R2年度	目標値 (R2)	担当課
公園・街路樹等が適正に管理されていると思う市民の割合	%	◎	79.8	85.0	82.6	80.0	都市整備課
<p>状況：目標値を達成しています。</p> <p>原因：日常の草刈などの維持管理及び、定期的な施設の点検・補修を実施した結果と思われます。</p>							
市が公園管理者として責任を負った事故件数	件	×	0	0	1	0	都市整備課
<p>状況：事故が1件発生しました。</p> <p>原因：定期的な施設の保守点検や樹木の剪定・伐採による適切な維持管理の結果、施設等を原因とした事故はありませんでした。しかしながら、維持管理作業中に乗用芝刈機からの飛石により窓ガラスを破損してしまいました。安全な作業方法の確認等、維持管理作業時の事故防止を図っていきます。</p>							

### V-3 暮らしの安全・安心な社会の構築

成果指標名	単位	R2 評価	基準値 (H26)	R1年度	R2年度	目標値 (R2)	担当課
交通事故発生件数	件	○	112	116	102	85	生活環境課
<p>状況：令和元年度と比べ14件減少しましたが、目標値は達成できませんでした。</p> <p>原因：国道293号線、県道114号線（佐久山街道）での事故が増加しました。主な事故原因は、脇見運転等による追突、出会い頭事故となります。</p>							
全刑法犯数	件	◎	348	198	179(推定値)	230	生活環境課
<p>状況：令和元年度と比べ19件減少し、目標値を達成しました。</p> <p>原因：各種防犯活動の結果、市民の防犯意識が向上したと思われます。</p>							

#### 01 交通安全意識の向上

成果指標名	単位	R2 評価	基準値 (H26)	R1年度	R2年度	目標値 (R2)	担当課
交通ルールを順守している市民の割合	%	○	93.7	94.3	94.3	95.0	生活環境課
<p>状況：令和元年度と同数で、目標値を達成できませんでした。</p> <p>原因：コロナ感染拡大防止のため、交通安全教育が縮小したことが原因と思われます。</p>							

#### 02 交通安全対策の推進

成果指標名	単位	R2 評価	基準値 (H26)	R1年度	R2年度	目標値 (R2)	担当課
交通安全施設整備対応率（カーブミラー・信号・ガードレール・道路照明）	%	◎	83.3	93.8	100.0	85.0	生活環境課
<p>状況：令和元年度と比べ6.2ポイント増加し、目標を達成しました。</p> <p>原因：設置条件を満たす要望に対しては100%対応できました。</p>							

## 03 防犯意識の向上

成果指標名	単位	R2 評価	基準値 (H26)	R1年度	R2年度	目標値 (R2)	担当課
自主防犯団体数	団体	×	30	24	24	30	生活環境課
<p>状況：令和元年度と同数で、目標は達成できませんでした。</p> <p>原因：各団体員の高齢化による活動の休止、各団体の後継者不足のためと思われます。</p>							

## 04 防犯対策の推進

成果指標名	単位	R2 評価	基準値 (H26)	R1年度	R2年度	目標値 (R2)	担当課
防犯灯設置数	基	◎	2,931	3,418	3,450	3,300	生活環境課
<p>状況：新規防犯灯の設置が進み32基増え、目標を達成しました。</p> <p>原因：設置条件を満たしている要望には100%対応できました。</p>							

## 05 消費者行政の充実

成果指標名	単位	R2 評価	基準値 (H26)	R1年度	R2年度	目標値 (R2)	担当課
この一年間に消費生活関係のトラブルにあった市民の割合	%	△	4.0	6.0	5.5	2.0	生活環境課
<p>状況：令和元年度と比べ0.5ポイント減少しましたが、目標は達成できませんでした。</p> <p>原因：光回線の勧誘トラブルは減少しましたが、分かりにくい定期購入の案内は01年度と近接した件数でした。新たに複雑化した契約トラブル相談が増加しました。</p>							
クーリングオフ制度を知っている市民の割合	%	-	83.3	87.2	-	88.3	生活環境課
<p>状況：設問が変更されたため、数値を取得できませんでした。</p> <p>原因：新設問「あなたは、消費生活トラブルを解決するための以下の方策を知っていますか（複数回答）」では、クーリングオフ制度について61.5%という数字は取得できますが、元の設問と取得方法が異なるため、適用しません。</p>							

#### V-4 いのちとくらしを守る災害に強いまちづくり

成果指標名	単位	R2 評価	基準値 (H26)	R1年度	R2年度	目標値 (R2)	担当課
災害被害戸数	戸	◎	36	5	11	36	総務課
<p>状況：令和2年度被害件数は11件でした。令和元年度よりも増加しています。</p> <p>原因：5～6月大気の状態が不安定な日に発生した局所的な災害（雷、降雹）や、2/13深夜に発生した地震(震度4)により、一部損壊が相次いだためです。</p>							

##### 01 市民の防災意識の向上

成果指標名	単位	R2 評価	基準値 (H26)	R1年度	R2年度	目標値 (R2)	担当課
防災対策平均実践項目数	個	○	3.86	3.95	3.98	4.00	総務課
<p>状況：令和元年度と比べやや上昇しております。</p> <p>原因：各地で災害が発生したことや令和元年東日本台風の影響により、家庭における備えについて意識が高まったと思われます。</p>							

##### 02 地域防災力の強化

成果指標名	単位	R2 評価	基準値 (H26)	R1年度	R2年度	目標値 (R2)	担当課
規約に基づいた自主防災組織の結成数	団体	◎	6	28	32	30	総務課
<p>状況：令和元年度と比べ4団体増加しました。令和2年度目標を達成しました。</p> <p>原因：新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、令和元年度同様の取組を行ったことが増加につながったと思われます。</p>							
防災訓練等に参加した防災士の延べ人数	人	×	40	142	33	60	総務課
<p>状況：令和元年度と比べ大幅に減少しております。</p> <p>原因：令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、防災訓練及び防災士向け研修が予定通り開催できなかったことが要因と考えられます。</p>							
地域協議会の数（累計）	地区	△	0	0	0	<sup>3</sup> (5年間累計)	総合政策課
<p>状況：地域協議会の数は増加しませんでした。</p> <p>原因：新型コロナウイルスの影響で、集まり議論する機会が失われたことが大きいと思われます。</p>							

## 03 行政による防災体制の整備

成果指標名	単位	R2 評価	基準値 (H26)	R1年度	R2年度	目標値 (R2)	担当課
自主参集しなければならない災害規模を正しく理解している市職員の割合	%	○	80.2	80.6	87.0	90.0	総務課
状況：令和元年度と比べ上昇しています。 原因：令和元年東日本台風以降、若手職員向け防災研修や避難所開設訓練等を実施したこと等が理解度の向上につながったと思われます。							
災害時の情報伝達手段の機能不全件数	件	◎	0	0	0	0	総務課
状況：令和元年度と同様で、目標値を達成しております。 原因：日頃からの各情報機器の保守点検を実施している成果と思われます。							

## 04 雨水・浸水対策の整備

成果指標名	単位	R2 評価	基準値 (H26)	R1年度	R2年度	目標値 (R2)	担当課
道路冠水箇所数	箇所	×	0	34	3	0	建設課
状況：令和元年度に比べ減少しています。 原因：令和2年度は大型台風の接近やゲリラ豪雨がなかったため、被害件数が減少したと思われます。							
建物浸水箇所数（床下以上）	箇所	◎	0	8	0	0	建設課
状況：令和元年度に比べ減少しています。 原因：令和2年度は大型台風の接近やゲリラ豪雨がなかったため、被害件数が減少したと思われます。							

## V-5 安全でおいしい水道水の安定供給

成果指標名	単位	R2 評価	基準値 (H26)	R1年度	R2年度	目標値 (R2)	担当課
水道普及率	%	○	90.3	91.4	91.4	94.0	水道課
<p>状況：令和元年度と比較して同水準で推移しています。</p> <p>原因：令和元年度より給水人口が174人増加しました。平成26年度から実施している、水道未普及地域解消事業により、氏家北東部及び氏家南東部地区の整備区域が拡大したことや、水道整備済み区域内の新規住宅建設などにより、水道の新規加入者が増加し、人口の減少分を上回った結果となりました。</p>							
水道に対する満足度	%	○	90.6	94.1	94.5	95.0	水道課
<p>状況：令和元年度と比較して、0.4ポイント増加しています。</p> <p>原因：水質異常など発生せず、安心安全な水道水が安定供給のための施設管理を推進できているため満足度は、高い数値で推移しています。</p>							

### 01 水道施設の維持管理・更新

成果指標名	単位	R2 評価	基準値 (H26)	R1年度	R2年度	目標値 (R2)	担当課
有収率	%	×	80.0	72.9	72.8	86.0	水道課
<p>状況：令和元年度と比較して、0.1ポイント減少しています。</p> <p>原因：重点事業である水道未普及地域解消事業による新設配水管の管内洗浄や、水質保持のための管末からの排水作業、更には配水区域内で発生している把握困難な漏水事案の頻発化により有収水量が低下しています。</p>							
石綿管の残存延長	m	○	25,254	21,478	20,910	16,254	水道課
<p>状況：令和元年度と比較して、568m減少しましたが、まだ多くの石綿管が布設されています。</p> <p>原因：老朽管の布設工事や下水道に伴う配水管移設工事により、石綿管の延長は着実に減少しています。現在は、水道未普及地域解消事業を優先的に行っているため石綿管から耐震管への取替工事は小規模なものとなり、大幅な減少まではできていない状況です。</p>							



## 02 水道未普及地域の解消

成果指標名	単位	R2 評価	基準値 (H26)	R1年度	R2年度	目標値 (R2)	担当課
未普及地域における配水管整備率（計画延長に対する整備延長割合）	%	◎	13.5	85.9	96.9	95.0	水道課

状況：令和元年度と比較して、11.0ポイント増加し順調に増加しています。

原因：水道未普及地域解消事業に対して一般会計からの出資金を受入れ、重点的に新設配水管の布設工事を大規模に実施し最終年度の令和3年度に向け順調に整備延長が伸びています。

## 03 水道事業の安定経営

成果指標名	単位	R2 評価	基準値 (H26)	R1年度	R2年度	目標値 (R2)	担当課
経常収支比率	%	△	112.6	110.4	112.0	115.0	水道課

状況：令和元年度と比較して1.6ポイント増加し、高い水準で推移しています。

原因：給水収益が未普及地域解消事業等による使用者増に合わせ微増しています。併せて、減価償却費の増加と老朽化した施設の修繕費が同水準で推移しているため、数値が若干上昇しました。

## V-6 良好な水資源を保全する下水道の整備

成果指標名	単位	R2 評価	基準値 (H26)	R1年度	R2年度	目標値 (R2)	担当課
水洗化率（氏家地区）	%	◎	83.4	94.9	94.6	86.8	下水道課
<p>状況：令和元年度と比較して0.3ポイント減少しましたが、目標値を7.8ポイント上回りました。</p> <p>原因：管路工事施工による水洗化区域の急速な拡大により、水洗化率が一時的に低下したと思われる。</p>							
水洗化率（喜連川地区）	%	○	64.7	70.8	70.2	70.6	下水道課
<p>状況：令和元年度と比較して0.6ポイント減少し、目標値を0.4ポイント下回りました。</p> <p>原因：整備済区域内の人口減少によるものと思われる。</p>							

### 01 下水道の整備

成果指標名	単位	R2 評価	基準値 (H26)	R1年度	R2年度	目標値 (R2)	担当課
下水道整備済区域内人口（氏家地区）	人	○	18,463	19,126	19,312	21,229	下水道課
<p>状況：令和元年度と比較して186人増加しましたが、目標値を1,917人下回りました。</p> <p>原因：分譲地販売が好調なため整備済区域内人口が増加しましたが、全市的な人口減少により目標値への到達が難しくなったものと思われる。</p>							
下水道整備済区域内人口（喜連川地区）	人	○	2,646	2,650	2,632	2,650	下水道課
<p>状況：令和元年度と比較して18人減少し、目標値を18人下回りました。</p> <p>原因：整備済区域内の人口減少によるものと思われる。</p>							
下水道普及率（氏家地区）	%	△	55.0	56.0	56.2	62.2	下水道課
<p>状況：令和元年度と比較して0.2ポイント増加しましたが、目標値を6.0ポイント下回りました。</p> <p>原因：分譲地販売が好調なため整備済区域内人口が増加しましたが、全市的な人口減少により目標値への到達が難しくなったものと思われる。</p>							
下水道普及率（喜連川地区）	%	◎	24.6	26.9	26.9	25.2	下水道課
<p>状況：令和元年度と比較して増減はありませんが、目標値を1.7ポイント上回りました。</p> <p>原因：人口変動の割合が整備済区域内外で同等であったため、増減が生じなかったものと思われる。</p>							

## 02 施設の維持管理

成果指標名	単位	R2 評価	基準値 (H26)	R1年度	R2年度	目標値 (R2)	担当課
機能不全件数（氏家地区）	日	◎	0	0	0	0	下水道課
状況：令和2年度は機能不全は発生しませんでした。 原因：適切な維持管理・更新・修繕ができています。							
機能不全件数（喜連川地区）	日	◎	0	0	0	0	下水道課
状況：令和2年度は機能不全は発生しませんでした。 原因：適切な維持管理・更新・修繕ができています。							

## 03 下水道事業の安定経営

成果指標名	単位	R2 評価	基準値 (H26)	R1年度	R2年度	目標値 (R2)	担当課
経常収支比率	%	◎	100.0	131.7	123.8	100.0	下水道課
状況：令和元年度と比較して7.9ポイント減少しましたが、目標値を23.8ポイント上回りました。 原因：営業外費用が増加したことにより経常収支比率が低下していますが、下水道使用料が着実に増加していることなどにより、目標値を上回ることができたものと思われます。							

## 政策VI 次代に引き継ぐ豊かな自然と環境

### VI-1 次世代に継承する自然環境の保全

成果指標名	単位	R2 評価	基準値 (H26)	R1年度	R2年度	目標値 (R2)	担当課
市が自然環境に恵まれていると思う市民の割合	%	○	90.1	94.7	93.9	95.0	生活環境課
<p>状況：基準値（H26年）と比較して3.8ポイント増加しましたが、目標値は達成できませんでした。</p> <p>原因：自然観察会や自然環境研修会などの、市民が自然環境と触れ合う機会の創出が少なかった影響が考えられます。</p>							
地球温暖化対策等に効果的な行動の平均実践項目数	個	○	4.00	4.07	4.25	5.00	生活環境課
<p>状況：基準値（H26年）と比較して0.25個増加しましたが、目標値は達成できませんでした。</p> <p>原因：地球温暖化への意識が高まり、省エネに対する行動が見直されてきましたが、自粛期間におけるステイホームなどが影響し、数値が伸び悩んだ可能性があります。</p>							

#### 01 環境保全活動の推進

成果指標名	単位	R2 評価	基準値 (H26)	R1年度	R2年度	目標値 (R2)	担当課
環境保全活動に参加している市民の割合	%	×	1.6	1.4	1.4	2	生活環境課
<p>状況：基準値（H26年）と比較して0.2ポイント減少し、目標値は達成できませんでした。</p> <p>原因：感染症対策としての市内一斉清掃の中止や地域コミュニティの希薄化などが原因と思われます。</p>							
ISO14001などを取得している市内事業所数	件	◎	7	10	10	8	生活環境課
<p>状況：基準値（H26年）と比較して3件増加し、目標値を達成しました。</p> <p>原因：市内の事業所が積極的に環境保全活動に取り組み、効果が出ている結果と思われます。</p>							

## 02 CO2抑制と再生可能エネルギーの推進

成果指標名	単位	R2 評価	基準値 (H26)	R1年度	R2年度	目標値 (R2)	担当課
太陽光やヒートポンプなどの新エネルギーを導入している市民の割合	%	◎	14.9	19.3	18.1	16.0	生活環境課
<p>状況：基準値（H26年）と比較して3.2ポイント増加し、目標値を達成しました。</p> <p>原因：太陽光発電システムは、固定価格買取制度の継続により普及が進んでいます。市においても太陽光発電システムやペレットストーブの導入に関して補助金を交付するなど、再生可能エネルギーの導入を推進しています。</p>							
省エネルギーに取り組んでいる市民の割合	%	△	89.6	91.0	89.4	95.0	生活環境課
<p>状況：基準値（H26年）と比較して0.2ポイント減少し、目標値は達成できませんでした。</p> <p>原因：省エネに対する行動が見直されてきましたが、自粛期間におけるステイホームなどが影響し、数値が伸び悩んだ可能性があります。</p>							
市域での年間電力使用量	Gwh	-	360	-	-	339	生活環境課
<p>状況：令和2年度の指標は把握できません。</p> <p>原因：令和2年度の電力使用量データが把握できないことによります。</p>							

## 03 緑地の保全・育成

成果指標名	単位	R2 評価	基準値 (H26)	R1年度	R2年度	目標値 (R2)	担当課
森林の整備面積	ha	×	70	14	14	77	農政課
<p>状況：令和元年度と同じ面積で、基準年と比較して、56ha減少しています。</p> <p>原因：林業事業体の施業において、下刈・間伐・造林の実施減及び元気な森づくり県民税事業の奥山林整備事業が平成29年度で終了となったことによるものです。</p>							

## VI-2 5 Rによる循環型社会の実現

成果指標名	単位	R2 評価	基準値 (H26)	R1年度	R2年度	目標値 (R2)	担当課
家庭系・事業系ごみの排出量	t	×	10,653	10,894	10,732	10,440	生活環境課
<p>状況：令和元年度と比較して、162 t の減少です。</p> <p>原因：令和元年度と比較し、家庭系可燃ごみが約95 t 増加しましたが、事業系可燃ごみが約257 t 減少したためです。新型コロナウイルス感染拡大の影響による、事業活動の縮小が原因と思われます。</p>							

### 01 廃棄物抑制の推進

成果指標名	単位	R2 評価	基準値 (H26)	R1年度	R2年度	目標値 (R2)	担当課
1日1人当りの家庭系可燃ごみ排出量	g	×	481	495	498	439	生活環境課
<p>状況：令和元年度と比較して、3gの増加です。</p> <p>原因：令和元年度と比較し、家庭系可燃ごみが約95 t 増加したためです。新型コロナウイルス感染拡大の影響により、在宅で過ごす時間が増えたことが原因と思われます。</p>							
事業系可燃ごみの排出量	t	◎	2,927	2,939	2,683	2,868	生活環境課
<p>状況：令和元年度と比較して、256 t の減少です。</p> <p>原因：新型コロナウイルス感染拡大の影響による、事業活動の縮小が原因と思われます。</p>							

### 02 不法投棄等の不適正処理の抑制

成果指標名	単位	R2 評価	基準値 (H26)	R1年度	R2年度	目標値 (R2)	担当課
不適正処理事案発見件数（不法投棄・野焼き）	件	◎	50	68	31	46	生活環境課
<p>状況：令和元年度と比較して、37件の減少です。</p> <p>原因：行為者への指導や広報紙、HPによる意識啓発の浸透によります。</p>							

## 03 リサイクル活動の推進

成果指標名	単位	R2 評価	基準値 (H26)	R1年度	R2年度	目標値 (R2)	担当課
家庭系資源物回収量	t	×	1,156	848	922	1,185	生活環境課
<p>状況：令和元年度と比較して、74 t の増加です。</p> <p>原因：主にダンボール・雑誌等の回収量が増加したためです。新型コロナウイルス感染拡大の影響により、在宅で過ごす時間が増えたことが原因と思われます。</p>							
資源化率	%	×	13.2	9.4	10.0	14.0	生活環境課
<p>状況：令和元年度と比較して、0.6ポイントの増加です。</p> <p>原因：主にダンボール・雑誌等の回収量が増加したためです。新型コロナウイルス感染拡大の影響により、在宅で過ごす時間が増えたことが原因と思われます。</p>							

## 04 ごみの収集・処理体制の適正化

成果指標名	単位	R2 評価	基準値 (H26)	R1年度	R2年度	目標値 (R2)	担当課
市民1人当りのごみ収集処理コスト	円	×	7,057	7,629	7,820	5,129	生活環境課
<p>状況：令和元年度と比較して、191円の増加です。</p> <p>原因：主に一般廃棄物収集運搬業務委託費が増加したためです。本業務は5年委託契約であり、R2が新たな契約の初年度でしたが、5年間でごみステーション数や人件費が増えことが原因となります。</p>							
ごみ収集に関する不具合・事故件数	件	△	13	35	14	10	生活環境課
<p>状況：令和元年度と比較して、21件の減少です。</p> <p>原因：分別の仕方等が正しく認知されている結果によるものと思われます。</p>							

## 05 リユース（再利用）活動の促進

成果指標名	単位	R2 評価	基準値 (H26)	R1年度	R2年度	目標値 (R2)	担当課
再利用品・中古品を利用している市民の割合	%	×	45.5	46.4	41.5	46.0	生活環境課
<p>状況：基準値（H26年）比4.0ポイントの減少です。</p> <p>原因：新型コロナウイルス感染拡大の影響による、中古品等を利用することへの忌避感が原因と思われます。</p>							

### VI- 3 ルールとモラルにもとづく生活衛生環境の向上

成果指標名	単位	R2 評価	基準値 (H26)	R1年度	R2年度	目標値 (R2)	担当課
清潔で衛生的な生活環境だと思う市民の割合	%	△	81.8	80.8	82.8	85.0	生活環境課
<p>状況：基準値（H26年）と比較して1.0ポイント増加しましたが、目標値は達成できませんでした。</p> <p>原因：空き家の増加などにより、周辺地域のモラルが低下している可能性があります。</p>							

#### 01 公害防止対策の推進

成果指標名	単位	R2 評価	基準値 (H26)	R1年度	R2年度	目標値 (R2)	担当課
環境基準達成率（水質）	%	○	85.5	91.3	89.0	91.0	生活環境課
<p>状況：基準値（H26年）と比較して3.5ポイント増加しましたが、目標値を達成することはできませんでした。</p> <p>原因：冬季における湧水時に水質が汚濁していることが考えられます。</p>							
環境基準達成率（大気）	%	◎	100.0	100.0	100.0	100.0	生活環境課
<p>状況：大気に関する環境基準を達成しています。</p> <p>原因：公害予防に関する啓発活動等により環境基準が保たれています。</p>							
環境基準達成率（騒音）	%	◎	100.0	100.0	100.0	100.0	生活環境課
<p>状況：騒音に関する環境基準を達成しています。</p> <p>原因：公害予防に関する啓発活動等により環境基準が保たれています。</p>							



02 生活排水対策の推進

成果指標名	単位	R2 評価	基準値 (H26)	R1年度	R2年度	目標値 (R2)	担当課
合併処理浄化槽へ転換した世帯数（市の補助対象のみ）	世帯	×	26	16	11	33	下水道課

状況：令和元年度と比べ5世帯の減少となり、目標値を下回る状況が続いています。

原因：合併処理浄化槽への転換にかかる費用の負担が大きいくに加え、下水道施設への接続の促進、汲み取り槽・単独処理浄化槽利用家屋の建替えが進んでいるためと思われます。

03 犬・猫の適正飼養の推進

成果指標名	単位	R2 評価	基準値 (H26)	R1年度	R2年度	目標値 (R2)	担当課
犬・猫に関する年間苦情件数	件	◎	56	14	25	31	生活環境課

状況：基準値（H26年）と比較して31件減少して、目標値を達成しています。

原因：県と連携するなどして、犬や猫の適正飼育を推進してきたことによるものと思われます。

04 美化運動の推進

成果指標名	単位	R2 評価	基準値 (H26)	R1年度	R2年度	目標値 (R2)	担当課
公共の場所在清潔に保たれていると感じる市民の割合	%	○	69.1	73.4	74.4	80.2	生活環境課

状況：基準値（H26年）と比較して5.3ポイント増加しましたが、目標値は達成できませんでした。

原因：感染症対策として一斉清掃を中止するなど、環境美化活動への取り組みが少なかったことが影響したと考えられます。